

.研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍							
著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
木下貴之	乳癌のサブタイプ分類と薬物療法	木下貴之, 戸井雅和	オンコロジークリニカルガイド 乳癌薬物療法	南山堂	東京	2013	15-24
木下貴之	オンコロジークリニカルガイド 乳癌薬物療法	木下貴之, 戸井雅和	オンコロジークリニカルガイド 乳癌薬物療法	南山堂	東京	2013	
木下貴之	がん登録と診療の質の評価	福田護, 池田正, 佐伯俊昭, 鹿間直人	これからの乳癌診療 2013-2014	金原出版株式会社	東京	2013	125-133
木下貴之	乳癌	泉孝英	今日の診療のために ガイドライン外来診療 2013	日経メディカル開発	東京	2013	584-6
木下貴之	術前化学療法施行例の外科治療 乳房温存療法, センチネルリンパ節生検の実際	戸井雅和	別冊 医学のあゆみ 乳癌診療 Update—最新診療コンセンサス 2012	医歯薬出版株式会社	東京	2013	79-85
木下貴之	乳がん 治療・検査・療養	木下貴之, 藤原康弘	乳がん	小学館	東京	2013	
山内智香子	Chapter3 1 乳房温存術後の放射線療法 通常分割全乳房照射.	監修佐々木良平, 他	決定版 チームで取り組む乳がん放射線療法	メディカル教育研究社	埼玉	2013	59-64
山内智香子	放射線療法	日本乳癌学会編	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 治療編 2013年版	金原出版	東京	2013	272-333
中村和正, 他	D1 病期に対する治療 放射線治療の適応 前立腺局所、リンパ節領域への放射線治療の適応と意義	青木学, 中村和正, 他編;	新版 前立腺癌放射線治療のすべて リスク別アプローチから合併症対策まで			2013	11 (増): 258-263.
中村和正	外部照射 骨盤照射の意義と考え方	青木学, 中村和正, 他編.	新版 前立腺癌放射線治療のすべて リスク別アプローチから合併症対策まで			2013	11 (増): 213-219.

中村和正	リスクの選択肢	青木学, 中村和正, 他編.	新版 前立腺癌放射線治療のすべて リスク別アプローチから合併症対策まで			2013	11 (増): 112-113
Randall ME., Toita T., et al.	Section III: Disease site. Cervix.	Eds: Barakat RR, Berchuck A, Markman M, and Randall ME.	Principles and Practice of Gynecologic Oncology. 6 th Edition.	Wolters Kluwer/ Lippincott Williams & Wilkins.	Philadelphia	2013	598-660
戸板孝文	放射線単独療法と同時化学放射線療法は使い分けか?		EBM 婦人科疾患の治療 2013-2014	中外医学社,		2013	271-6
戸板孝文.	子宮頸癌腔内照射 (2D)	日本放射線腫瘍学会 小線源治療部会.	小線源治療部会ガイドラインに基づく密封小線源治療診療・物理QA マニュアル	金原出版株式会社	東京	2013:	75-82
鹿間直人	放射線による治療	岩田広治	きょうの健康乳がん	NHK 出版	東京	2013	60-7
鹿間直人	最新放射線治療4. 患者さんの負担軽減を考えた短期放射線治療が有望		がんサポート	エビデンス社	東京	2013	34-7
近藤博史 安藤裕	放射線検査・治療に関するシステム	一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会	新版 医療情報第2版 医療情報システム編	篠原出版社	東京	2013.3	116-21
佐々木茂	有棘細胞癌の放射線治療.	川内秀明	皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向	日本臨牀社	大阪	2013	518-20
佐々木茂	基底細胞癌の放射線治療.	川内秀明	皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向	日本臨牀社	大阪	2013	642-45
佐々木茂	放射線と肺発癌 (治療後の二次発癌を含めて).	瓦谷秀治	最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向	日本臨牀社	大阪	2013	146-49
Ozawa S., Tachimori Y., Numasaki H., Teshima T., Uno T., et al.		The Registration Committee for Esophageal Cancer.	Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan, 2004.	The Japan Esophageal Society	Chiba	2012	

手島昭樹.	5. 放射線治療施設の運営・管理に関連する知識, 放射線治療部門の運営	日本放射線腫瘍学会, 日本放射線腫瘍学研究機構編	臨床放射線腫瘍学	南江堂	東京	2012	183-188
笠松高弘	がん登録の歴史と現状.	小西郁生	日本臨床 増刊 婦人科がん.	日本臨床社	東京	2012	29-33
木下貴之	. 治療 1. 薬物治療 e) 抗 ANKL 中和抗体とビスフォスフォネートの比較	米田俊之	がん骨転移のバイオロジーとマネージメント	株式会社医薬ジャーナル社	東京	2012	207-210
木下貴之	センチネルリンパ節の同定法と生検手技 色素法・アイソトープ法	丹黒章	センチネルリンパ節生検 手技・エビデンス・ピットフォール	株式会社日本医事新報社	東京	2012	68-77
木下貴之	鏡視下手術	日本乳癌学会	乳腺腫瘍学	金原出版	東京	2012	170-172
関口健次, 山内智香子, 他	乳癌診療ガイドライン 2011 年度版(放射線療法)改定の要点	園尾博司 監修 鹿間直人, 他編	これからの乳癌診療 2012-2013	金原出版	東京	2012	98-103
光森通英, 山内智香子, 鹿間直人, 他. 放射線治療小委員会	放射線療法	日本乳癌学会編.	患者さんのための乳癌診療ガイドライン 2012 年版	金原出版	東京	2012	
明石定子, 山内智香子, 他. 規約委員会委員		日本乳癌学会編.	臨床・病理乳癌取扱規約第 17 版,	金原出版	東京	2012	
中村和正(ワーキンググループ委員)	II. 前立腺癌 外部照射法 -	日本放射線腫瘍学会編	放射線治療計画ガイドライン 2012 年版	金原出版	東京	2012	179-183
淡河恵津世, 角美奈子, 他		日本放射線腫瘍学会編	放射線治療計画ガイドライン 2012 年版 小児.	金原出版	東京	2012	250-276
鹿間直人	最新知見に基づいた放射線治療の実践	日本放射線腫瘍学会 / 日本放射線腫瘍学会研究機構	臨床放射線腫瘍学	南光堂	東京	2012	508-11
鹿間直人	乳房切除術後(進行乳癌).	日本乳癌学会編	乳腺腫瘍学	金原出版	東京	2012	289-92
舟越和人, 鹿間直人, 他	骨転移(含脊髄)の放射線治療.		日本胸部臨床	克誠堂出版	東京	2012	71

鹿間直人	皮膚癌	日本放射線腫瘍学会	放射線治療計画 ガイドライン 2012 版	金原出版	東京	2012	242-5
大西洋	呼吸性移動対策	日本放射線腫瘍学 会編	放射線治療計画 ガイドライン (2012 年版)	金原出版	東京	2012	35-38
中川恵一			放射線のものさ し	朝日出版 社		2012	総 数 205 頁
Ozawa S., Teshima T., et al.		Registaration Committee for Esophageal Cancer.	Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan, 2003.	The Japan Esophageal Society.	Chiba	2011	
放射線治療 小委員会 光森通英, 鹿間直人, 山内智香子, 他.		日本乳癌学会編	科学的根拠に基 づく乳癌診療ガ イドライン 1 ,治 療編 2011 年版	金原出版	東京	2011	258 -318
山内智香子.	G 乳癌	井上俊彦, 山下孝, 齋藤安子編	がん放射線治療 と看護の実践	金原出版	東京	2011	152 -163
山内智香子 他.	放射線療法	戸井雅和編著	乳癌レビュー 2012	メディカル レビュー	大阪	2011	155 -161
山内智香子 他.	術後局所再発に 対する放射線治 療戦略	園尾博司編	これからの乳癌 診療 2011-2012	金原出版	東京	2011	92-98
放射線治療 小委員会 光森通英, 鹿間直人, 山内智香子, 他.		日本乳癌学会編	科学的根拠に基 づく乳がん診療 ガイドライン 治療編 2011 年版	金原出版		2011	293 -298
鹿間直人.	放射線療法	齋田俊明編	一冊でわかる皮 膚がん .	文光堂		2011	107 -111
小岩井慶一 郎, 鹿間直人, 佐々木茂 他.	放射線腫瘍学 第 2 章 各悪性 新生物における 放射線治療 .	酒井文和編	STEP SERIES 放 射線科	海馬書房	東京	2011	359 -392
中川恵一			専門医が教える がんで死なない 生き方	光文社	東京	2011	205 (総 頁 数)
中川恵一			放射線医が語る 被ばくと発がん の真実	KK ベス トセラー ズ	東京	2011	191 (総 頁 数)

佐々木茂 , 他.	放射線腫瘍学 第 1章 放射線腫瘍 学総論 .	酒井文和編	STEP SERIES 放 射線科	海馬書房	東京	2011	345 -358
佐々木茂 , 他.	放射線腫瘍学第 3章 緩和治療 .	酒井文和編	STEP SERIES 放 射線科	海馬書房	東京	2011	393 -396
佐々木茂	放射線腫瘍学 第 1 章 放射線 腫瘍学総論 A. 放射線治療の 概要	酒井文和	STEP SERIES 放射線科	海馬書房	東京	2011	345
佐々木茂	放射線腫瘍学 第 2 章 各悪性 新生物における 放射線治療 N. 小児腫瘍	酒井文和	STEP SERIES 放射線科	海馬書房	東京	2011	389 -392
佐々木茂	放射線腫瘍学 第 3 章 緩和治 療 A. 脳転移	酒井文和	STEP SERIES 放射線科	海馬書房	東京	2011	393 -395
Japanese PCS Working Group.	Radiation oncology in multidisciplinary ancer in multidisciplinary cancer therapy-basic requirements for quality assurance of radiotherapy based on patterns of care study. 2010. 10.	Japanese PCS Working Group.	Ministry of Health, Labour and Welfare Cancer Research Grant, Planned Research Study 18-4	Japanese PCS Working Group.	8-7	2010	79
Ozawa S., Tachimori Y., Numasaki H., Teshima T., Uno T., et al.	The registration committee for esophageal cancer.: comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2002.	The Japan Esophageal Society	The Japan Esophageal Society	The Japan Esophageal Society	Chiba	2010	
Teshima T., Uno T., et al.	The Registration Committee for Esophageal Cancer.Comprehe nsive registry of esophageal cancer in Japan, 2002.	The Japan Esophageal Society	The Japan Esophageal Society	The Japan Esophageal Society	Chiba	2010	
井上俊彦, 手島昭樹, 他		井上俊彦, 手島昭樹, 他	放射線治療学 改 訂 4 版	南山堂	東京	2010	

手島昭樹	がんの統合医療	伊藤壽記、上島悦子 監訳	放射線治療とがんの統合医療、	メディカル・サイエンス・インターナショナル	東京	2010	460-473
手島昭樹	5.1 がんの統計	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之, 編著	がん・放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	297-304
木下貴之, 他	第2章 リンパ節転移陽性症例に対する SLN 単独と郭清の比較	福田 護, 他	これからの乳癌診療 2010~2011	金原出版	東京	2010	41-48
角美奈子	8. 骨軟部腫瘍 1. 皮膚	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之, 編著	がん・放射線療法別冊 代表的照射野とCT上のターゲット	篠原出版 新社	東京	2010	104-105
角美奈子	10. 小児腫瘍 3. 小児骨腫瘍	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之, 編著	がん・放射線療法別冊 代表的照射野とCT上のターゲット	篠原出版 新社	東京	2010	134-135
戸板孝文	子宮頸癌	大西洋, 唐澤克之, 唐澤久美子, 監修	がん・放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	997-1004
古平毅	頭頸部腫瘍 「下咽頭」	大西洋, 唐澤克之, 唐澤久美子, 監修	がん放射線療法 2010 第一版	篠原出版 社	東京	2010	693-705
古平毅	5 下咽頭	大西洋, 唐澤克之, 唐澤久美子, 監修	がん放射線療法 2010 別冊 代表的照射野とCT上のターゲット 第一版	篠原出版 社	東京	2010	30-31
鹿間直人	節外性悪性リンパ腫(中枢神経・睾丸・乳房・胃など)	大西洋 唐澤克之 唐澤久美子	がん・放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	1088-1094
大西洋	放射線治療の意義・特徴・構造・将来	大西洋	がん放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	23
大西洋	放射線治療の経済的分析・病院経営への寄与	大西洋	がん放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	28
大西洋	骨盤照射後の直腸炎・膀胱炎	大西洋	がん放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	138
大西洋	呼吸性移動対策	大西洋	がん放射線療法 2010	篠原出版 新社	東京	2010	507

小泉雅彦	第3章 放射線治療の基礎B. 放射線生物学, 第17章 骨・軟部腫瘍、第18章 小児腫瘍	井上俊彦, 井上武宏, 手島昭樹編	放射線腫瘍学(改訂4版)	南山堂	東京	2010	30-43, 293-320
小泉雅彦	第7章 各領域の治療 骨軟部腫瘍 7-66.原発性骨腫瘍.	大西洋, 唐澤克之, 唐澤久美子 監修	がん・放射線治療法	篠原出版社	東京	2010	1061-1068
小泉雅彦	第8章 骨軟部腫瘍 5.原発性骨腫瘍.	大西洋, 唐澤克之, 唐澤久美子 監修	がん・放射線治療法 2010 別冊「代表的照射野とCTのターゲット」	篠原出版社	東京	2010	110-111
中川恵一			「死を忘れた日本人」	朝日出版社	東京	2010	
寺原敦朗.	定位手術的照射	大西洋, 唐澤克之, 唐澤久美子 監修	がん・放射線療法 2010	篠原出版社	東京	2010	470-482

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tachimori Y., Numasaki H., The Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society.	Supraclavicular node metastasis from thoracic esophageal carcinoma: a surgical series from a Japanese multi-institutional nationwide registry of esophageal cancer.	J. Thorac. Cardiovasc. Surg.		in press	2014
Tachimori Y., Numasaki H., Uno T., et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2006	Esophagus	11	21-47	2014
Tachimori Y., Numasaki H., Uno T., et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2005.	Esophagus	11	1-20	2014
Tachimori Y., Numasaki H., Uno T., et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2006.	Esophagus	Sept.		2013
Okami J., Teshima T., et al.	Radiotherapy for postoperative thoracic lymph node recurrence of non-small-cell lung cancer provides better outcomes if the disease is asymptomatic and a single-station involvement.,	J Thoracic Oncol.	8 (11)	1417-24	2013

Morimoto M., <u>Koizumi M.</u> , <u>Teshima T.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Comparison of acute, subacute genitourinary and gastrointestinal adverse events of radiotherapy for prostate cancer using intensity modulated radiation therapy, three-dimensional conformal radiation therapy, permanent implant brachytherapy or high-dose-rate brachytherapy.	Tumori		in press	2013
Takakura T., <u>Teshima T.</u> , et al.	Effects of interportal error on dose distribution in patients undergoing breath-holding intensity-modulated radiotherapy for pancreatic cancer: evaluation of a new treatment planning method.	J. Appl. Med. Phys.	14(5)	43-51	2013
Otani K., <u>Teshima T.</u> , et al.	Preoperative chemoradiotherapy with gemcitabine for pancreatic cancer encountered vertebral compression fractures.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	87(25)	S187	2013
Hirata T., <u>Teshima T.</u> , et al.	Dose-volume analysis for predicting histological effects and gastrointestinal complications after preoperative chemoradiotherapy for pancreatic cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	87(25)	S309	2013
<u>Miki T.</u> , et al.	Clinical characteristics and oncological outcomes of testicular cancer patients registered in 2005 and 2008: The first large-scale study from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association.	Int. J. Urol		in press	2014
Fujimoto H., <u>Miki T.</u> , et al.	Oncological outcomes of the renal pelvic and ureteral cancer patients registered in 2005: The first large population report from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association.	Int. J. Urol.		in press	2013
Nishimura K., <u>Miki T.</u> , et al.	Prolonged treatment with three-weekly docetaxel plus daily prednisolone for metastatic castration-resistant prostate cancer: a multicenter, phase II, open-label, non-comparative, extension study in Japan.	Int. J. Clin. Oncol.	18(2)	306-313	2013

Naitoh Y., <u>Miki T.</u> , et al.	Hemostatic effect of new surgical glue in animal partial nephrectomy models.	Urology 2013;	81(5)	1095-100	2013
Fujihara A., <u>Miki T.</u> , et al.	Urge perception index of bladder hypersensitivity.	J. Urol.	189(5)	1797-803	2013
Kobayashi K., <u>Miki T.</u> , et al.	Evaluation of dosimetry and excess seeds in permanent brachytherapy using a modified hybrid method: a single-institution experience.	J. Radiat. Res.	54(3)	479-484	2013
Oishi M., <u>Miki T.</u> , et al.	Apigenin sensitizes prostate cancer cells to Apo2L/TRAIL by targeting adenine nucleotide translocase-2.	PloS One	8(2)	e55922.	2013
Okihara K., <u>Miki T.</u> , et al.	Assessment of sreenees' knowledge on prostate cancer: Results of a questionnaire using the fact sheet.	Urol Int.	91(1)	49-54	2013
Ueda T., <u>Miki T.</u> , et al.	Hyper-expression of PAX2 in human metastatic prostate tumors and its role as a cancer promoter in an in vitro invasion model.	Prostate	73(13)	1403-12	2013
Ochiai A., <u>Miki T.</u> , et al.	Clinical utility of PCA3 urine assay in Japanese men undergoing prostate biopsy.	BJU Int.	111(6)	928-33	2013
Wang S., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	A retrospective study on nonmalignant airway erosion after right transthoracic subtotal esophagectomy: Incidence, diagnosis, therapy, and risk factors.	Ann. Thorac. Surg.		Nov 20	2013
Wang S., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Diagnosis and surgical outcomes for primary malignant melanoma of the esophagus: a single-center experience.	Ann. Thorac. Surg.	96(3)	1002-6	2013
Nonaka S., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Endoscopic submucosal dissection for gastric tube cancer after esophagectomy.	Gastrointest Endosc.		Sep 20	2013
Oda I., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Lymph-node metastasis in surgical resection of intramucosal esophageal adenocarcinoma.	Dig. Endosc.	25 Suppl 2	177-80	2013
Hiramatsu T., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Effectiveness of an outpatient preoperative care bundle in preventing postoperative pneumonia among esophageal cancer patients.	Am. J. Infect. Control.		accepted	2013
日月裕司, 他.	【食道疾患手術のすべて】悪性疾患の手術 頸部食道癌に対する手術.	手術	67	1461-66	2013

Murakami N., <u>Kasamatsu T., Sumi M.,</u> et al.	Vaginal tolerance of CT based image-guided high-dose rate interstitial brachytherapy for gynecological malignancies.	Radat.Oncol.	9	31	2014
Nishio S., <u>Kasamatsu T.,</u> et al.	Nuclear Y-box-binding protein is a poor prognostic marker and related to epidermal growth factor receptor in uterine cervical cancer.	Gynecol. Oncol.		in press	2014
Matsubara A., <u>Kasamatsu T.,</u>	Lobular endocervical glandular hyperplasia is a neoplastic entity with frequent activating GNAS mutations.	Am. J. Surg. Pathol.		in press	2013
Eto T., <u>Kasamatsu T.,</u> et al.	Status of treatment for the overall population of patients with stage IVb endometrial cancer, and evaluation of the role of preoperative chemotherapy: A retrospective multi-institutional study of 426 patients in Japan.	Gynecol. Oncol.		in press	2013
Katsumata N., <u>Kasamatsu T.,</u> et al. Japan Clinical Oncology G.	Phase III randomised controlled trial of neoadjuvant chemotherapy plus radical surgery vs radical surgery alone for stages IB2, IIA2, and IIB cervical cancer: a Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0102).	Br. J. Cancer	108	1957-63	2013
Murakami N., <u>Kasamatsu T., Sumi M.,</u> et al.	Radiation therapy for stage IVA cervical cancer.	Anticancer Res.	33	4989-94	2013
Murakami N., <u>Kasamatsu T., Sumi M.,</u> et al.	Radiation therapy for primary vaginal carcinoma.	J. Radiat. Res.	54	931-7	2013
Koga Y., <u>Kasamatsu T.,</u> et al.	Usefulness of immuno-magnetic beads conjugated with anti-EpCAM antibody for detecting endometrial cancer cells.	J.Cancer. Ther.	4	1273-82	2013
<u>Kinoshita T.,</u> et al.	⁶⁴ Cu-DOTA-trastuzumab PET imaging in patients with HER2-positive breast cancer.	J. Nucl. Med.		in press	2013

Tamura K., Ono M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic impact of Ki-67 labeling indices with 3 different cutoff values, histological grade, and nuclear grade in hormone-receptor-positive, HER2-negative, node-negative invasive breast cancers.	Breast Cancer.		in press	2013
Jimbo K., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Sentinel and nonsentinel lymph node assessment using a combination of one-step nucleic acid amplification and conventional histological examination.	The Breast	22	1194-99	2013
Osako T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Molecular detection of lymph node metastasis in breast cancer patients treated with preoperative systemic chemotherapy: a prospective multicentre trial using the one-step nucleic acid amplification assay.	Br. J. Cancer	109(6)	1693-98	2013
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Locoregional recurrence risk factors and the impact of postmastectomy radiotherapy on patients with tumors 5 cm or larger.	Breast Cancer		in press	2013
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Histological factors for accurately predicting first locoregional recurrence of invasive ductal carcinoma of the breast.	Cancer Sci.	104(9)	1252-61	2013
Hojo T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Use of the neo-adjuvant exemestane in post-menopausal estrogen receptor-positive breast cancer: A randomized phase II trial (PTEX46) to investigate the optimal duration of preoperative endocrine therapy.	Breast	22(3)	263-267	2013
Sugie T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Comparison of the indocyanine green fluorescence and blue dye methods in detection of sentinel lymph nodes in early-stage breast cancer.	Ann. Surg. Oncol.	20(7)	2213-18	2013
Kawano A., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic factors for stage IV hormone receptor-positive primary metastatic breast cancer.	Breast Cancer	20	145-151	2013

Tanabe Y., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Paclitaxel-induced peripheral neuropathy in patients receiving adjuvant chemotherapy for breast cancer.	Int. J. Clin. Oncol.	18(1)	132-138	2013
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Locoregional recurrence risk factors in breast cancer patients with positive axillary lymph nodes and the impact of postmastectomy radiotherapy.	Int. J. Clin. Oncol.	18(1)	54-61	2013
Shien T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	p53 expression in pretreatment specimen predicts response to neoadjuvant chemotherapy including anthracycline and taxane in patients with primary breast cancer.	Acta. Med. Okayama	67(3)	165-170	2013
Asaga S., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic factors for triple-negative breast cancer patients receiving preoperative systemic chemotherapy.	Clin. Breast. Cancer.	13(1)	40-6	2013
Iwata H., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Analysis of Ki-67 expression with neoadjuvant anastrozole or tamoxifenin patients receiving goserelin for premenopausal breast cancer.	Cancer.	119(4)	704-13	2013
<u>呉屋朝幸</u>	肺癌の臨床の最新研究の動向 肺癌診断・治療の変遷と展望 外科治療.	日本臨床	71	26-30	2013
<u>呉屋朝幸</u>	Patients-oriented medicine and best surgical practice.	日本臨床外科学会雑誌	74(11)	2949-2961	2013
Matsugi K., <u>Yamauchi C.</u> , et al.	Evaluation of 4D dose to a moving target with Monte Carlo dose calculation in stereotactic body radiotherapy for lung cancer.	Radiol. Phys. Technol. [Research Support, Non-U.S. Gov't].	6(1)	233-40	2013
Inaba K., <u>Sumi M.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Results of radical radiotherapy for squamous cell carcinoma of the eyelid.	J. Radiat. Res.	54	1131-7	2013
Inaba K., <u>Sumi M.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Increased risk of gastric adenocarcinoma after treatment of primary gastric diffuse large B-cell lymphoma.	BMC Cancer	13	499	2013
Yokota H., <u>Uno T.</u> , et al.	Internal hernia associated with colostomy after laparoscopic abdominoperineal resection.	Clin. Imaging.	37	590-2	2013

Kasuya G., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Distribution patterns of metastatic pelvic lymph nodes assessed by CT/MRI in patients with uterine cervical cancer.	Radiat. Oncol.	8	139-44	2013
Isohashi F., <u>Ogawa K.</u> , <u>Onishi H.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Patterns of radiotherapy practice for biliary tract cancer in Japan: results of the Japanese radiation oncology study group (JROSG) survey.	Radiat. Oncol.	8	76	2013
<u>Shikama N.</u> , <u>Nakamura K.</u> , et al.	Survey of advanced radiation technologies used at designated cancer care hospitals in Japan.	<i>Jpn. J. Clin. Oncol.</i>		in press	2013
Matsumoto K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Treatment outcome of high-dose-rate interstitial radiation therapy for patients with stage I and II mobile tongue cancer.	<i>Jpn. J. Clin. Oncol.</i>		in press	2013
Terashima K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Can a belly board reduce respiratory-induced prostate motion in the prone position? - Assessed by cine-magnetic resonance imaging.	Technol. Cancer Res. Treat.		in press	2013
Magome T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Similar-case-based optimization of beam arrangements in stereotactic body radiotherapy for assisting treatment planners.	Biomed. Res. Int.	2013	309534	2013
Shinoto M., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Postoperative radiotherapy in patients with salivary duct carcinoma: clinical outcomes and prognostic factors.	J. Radiat. Res.	54(5)	925-30	2013
Magome T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Computer-aided beam arrangement based on similar cases in radiation treatment-planning databases for stereotactic lung radiation therapy.	J. Radiat. Res.	54(3)	569-77	2013
<u>Nakamura K.</u> , et al.	The diffusion pattern of low dose rate brachytherapy for prostate cancer in Japan.	Cancer Sci.	104(7)	934-6	2013
Hirata H., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Association between EGFR-TKI resistance and efficacy of radiotherapy for brain metastases from EGFR-mutant lung adenocarcinoma.	Anticancer Res.	33	1649-1656	2013
Atsumi K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Prediction of outcome with FDG-PET in definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer.	J. Radiat. Res.	54(5)	890-8	2013

Maeda T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Radiation-associated changes in the length of telomeres in peripheral leukocytes from inpatients with cancer.	<i>Int. J. Radiat. Biol.</i>	89(2)	106-9	2013
Shioyama Y., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Clinical results of stereotactic body radiotherapy for Stage I small-cell lung cancer: a single institutional experience.	<i>J. Radiat. Res.</i>	54(1)	108-12	2013
中村和正, 他.	IMRT/ブラキセラピーの登場による前立腺癌の治療方針のパラダイムシフト	臨床放射線	58(9)	1183-88	2013
溝口明日実, <u>中村和正</u> , 他.	放射線治療における electronic portal imaging device を用いた四次元線量分布推定法の開発.	電子情報通信学会論文誌 D	J96-D(4)	813-823	2013
角先生					
Arita H., <u>Sumi M.</u> ,	Risk factors for early death after surgery in patients with brain metastases: reevaluation of the indications for and role of surgery.	<i>J. Neurooncol.</i>	116	145-52	2013
Horinouchi H., <u>Sumi M.</u> , et al.	Long-term results of concurrent chemoradiotherapy using cisplatin and vinorelbine for stage III non-small-cell lung cancer.	<i>Cancer Sci.</i>	104	93-7	2013
Kuroda Y., <u>Sumi M.</u> , et al.	Acute radiation esophagitis caused by high-dose involved field radiotherapy with concurrent cisplatin and vinorelbine for stage III non-small cell lung cancer.	<i>Technol. Cancer Res. Treat.</i>	12	333-9	2013
Shibamoto Y., <u>Sumi M.</u> , <u>Onishi H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , et al.	Primary CNS lymphoma treated with radiotherapy in Japan: a survey of patients treated in 2005-2009 and a comparison with those treated in 1985-2004.	<i>Int. J. Clin. Oncol.</i>		Dec 3	2013
Wakayama A., <u>Toita T.</u> , et al.	Concurrent chemoradiotherapy for non-bulky stage IB/II cervical cancer without pelvic node enlargement.	<i>Anticancer Res.</i>	33(11)	5123-6	2013
Kasuya G., <u>Ogawa K.</u> , <u>Toita T.</u> , et al.	Postoperative radiotherapy for uterine cervical cancer: impact of lymph node and histological type on survival.	<i>Anticancer Res.</i>	8	139	2013

Yamashita H., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Onishi H.</u> , et al.	High-dose-rate intra-cavitary brachytherapy combined with external beam radiation therapy for under 40-year-old patients with invasive uterine cervical carcinoma: Clinical outcomes in 118 patients in a Japanese multi-institutional study of JASTRO.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(5)	547-52	2013
Ariga T., <u>Toita T.</u> , et al.	External beam boost irradiation for clinically positive pelvic nodes in patients with uterine cervical cancer.	<i>J. Radiat. Res.</i>	54	1420-6	2013
<u>戸板孝文</u> , 他.	子宮頸がん腔内照射(2D). 実践マイクロセレクトロン HDR を使用した高線量率密封小線源治療ガイドンス	マイクロセレクトロン研究会		50-59	2013
<u>戸板孝文</u> , 他.	子宮頸癌の放射線治療—放射線治療計画ガイドライン.	産科と婦人科	80	1336-41	2013
<u>戸板孝文</u> , 他.	子宮頸癌の画像誘導小線源治療	画像情報メディカル 2013	45	834-838	2013
<u>戸板孝文</u> , 他.	早期子宮頸癌に対する放射線治療の位置づけ:エビデンスを踏まえて.	産婦人科の実際	62	911-916	2013
辻野佳世子, <u>戸板孝文</u> , 他.	子宮頸癌腔内照射における患者満足度アンケート調査報告.	臨床放射線	58	605-613	2013
Hanai N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Neck dissection after chemoradiotherapy for oropharyngeal and hypopharyngeal cancer: the correlation between cervical lymph node metastasis and prognosis.	Int. J. Clin. Oncol.		in press	2013
Goto M., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Prognostic factors and outcomes for salvage surgery in patients with recurrent squamous cell carcinoma of the tongue.	Asia Pac. J. Clin. Oncol.		in press	2013

Yamashita H., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Onishi H.</u> , et al.	High-dose rate intra-cavitary brachytherapy combined with external beam radiation therapy for under 40 years old patients with invasive uterine cervical carcinoma: clinical outcomes in 118 patients in a Japanese multi-institutional study of JASTRO Phase II study of cetuximab plus concomitant boost radiotherapy in Japanese patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(5)	547-52	2013
Kasuya G., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Distribution patterns of metastatic pelvic lymph nodes assessed by CT/MRI in patients with uterine cervical cancer.	Radiat. Oncol.	8	139	2013
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Preliminary analysis of risk factors for late rectal toxicity after helical tomotherapy for prostate cancer.	J. Radiat. Res.	54(5)	919-24	2013
Okano S., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Phase II study of cetuximab plus concomitant boost radiotherapy in Japanese patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(5)	476-82	2013
Kato K., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy at the dose of 50.4 Gy with elective nodal irradiation for stage II-III esophageal carcinoma.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(6)	608-15	2013
Goto Y., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Clinical outcome and patterns of recurrence of head and neck squamous cell carcinoma with a limited field of postoperative radiotherapy.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(7)	719-25	2013
Goto Y., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Alternating chemoradiotherapy in patients with nasopharyngeal cancer: prognostic factors and proposal for individualization of therapy.	J. Radiat. Res.	54(1)	98-107	2013
Wada H., <u>Kenjo M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	A phase I trial of S-1 with concurrent radiotherapy in patients with locally recurrent rectal cancer.	Int. J. Clin. Oncol.	18(2)	273-8	2013

Takahashi S., <u>Kenjo M.</u>	Case reports of portal vein thrombosis and bile duct stenosis after stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma.	Hepatology Research		in press	2013
Honda Y., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma.	J. Gastroenterol. Hepatol.;	28(3)	530-536	2013
Kimura T., <u>Kenjo M.</u>	Dynamic computed tomography appearance of tumor response after stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma: How should we evaluate treatment effects?	Hepatol. Res.	43(7)	717-712	2013
高橋一平, <u>権丈雅浩</u> , 他.	【特集 拡がる放射線治療】 期非小細胞癌に対する定位放射線治療	映像情報 Medical	45(11)	856-860	2013
<u>権丈雅浩</u> .	コンツォリングを学ぼう「食道癌」.	臨床放射線	58(13)	1826-32	2013
Yoshioka Y., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Monotherapeutic high-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: a dose reduction trial.	Radiother. Oncol.		in press.	2013
Sumida I., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Evaluation of imaging performance for megavoltage cone-beam CT over an extended period.	J. Radiat. Res.		in press	2013
Morimoto M., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Salvage high-dose-rate interstitial brachytherapy for locally recurrent rectal cancer: long-term follow-up results.	Int. J. Clin. Oncol.		in press	2013
Kano Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Novel drug discovery system for cancer stem cells in human squamous cell carcinoma of the esophagus.	Oncol. Rep.		in press	2013
Akino Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Characteristics of flattening filter free beams at low monitor unit settings.	Med. Phys.		in press.	2013
Yoshioka Y., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Monotherapeutic high-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: a dose reduction trial.	Radiother. Oncol.		in press	2013
Morimoto M., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Hypofractionated stereotactic radiation therapy in three to five fractions for vestibular schwannoma.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(8)	805-12	2013

Akino Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Estimation of rectal dose using daily megavoltage cone-beam computed tomography and deformable image registration.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	87(3)	602-608	2013
Yoshioka Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	The emerging role of high-dose-rate (HDR) brachytherapy as monotherapy for prostate cancer.	J. Radiat. Res.	54(5)	781-8	2013
Yagi M., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Gemstone spectral imaging: Determination of CT to ED conversion curves for radiotherapy treatment planning.	J. Appl. Clin. Med. Phys.	14(5)	173-86	2013
Mabuchi S., <u>Ogawa K.</u> , et al.	A phase I study of concurrent weekly carboplatin and paclitaxel combined with intensity-modulated pelvic radiotherapy as an adjuvant treatment for early-stage cervical cancer patients with positive pelvic lymph nodes.	Int. J. Gynecol. Cancer	23(7)	1279-86	2013
Kohshi K., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Potential roles of hyperbaric oxygenation in the treatments of brain tumors.	Undersea Hyperb. Med.	40(4)	351-62	2013
Matsuo K., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Utility of risk-weighted surgical-pathological factors in early-stage cervical cancer.	Br. J. Cancer	108(6)	1348-57	2013
Ogata T., <u>Ogawa K.</u> , <u>Koizumi M.</u> , et al.	Feasibility and accuracy of relative electron density determined by virtual monochromatic CT value subtraction at two different energies using the gemstone spectral imaging.	Radiat. Oncol	8	83	2013
Okazawa M., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Impact of the addition of concurrent chemotherapy to pelvic radiotherapy in surgically treated stage IB1-IIB cervical cancer patients with intermediate-risk or high-risk factors: A 13-year experience.	Int. J. Gynecol. Cancer.	23(3)	567-75	2013
<u>Ogawa K.</u> , et al.	Radiotherapy targeting cancer stem cells: current views and future perspectives.	Anticancer Res.	33(3)	747-754	2013

Yoshioka Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Analysis of late toxicity associated with external beam radiation therapy for prostate cancer with uniform setting of classical 4-field 70 Gy in 35 fractions: A survey study by the Osaka Urological Tumor Radiotherapy Study Group.	J. Radiat. Res.	54(1)	113-125	2013
Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	High dose rate brachytherapy for oral cancer.	J. Radiat. Res.	54(1)	1-17	2013
Deng Z., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Viral load, physical status, and E6/E7 mRNA expression of human papillomavirus in head and neck squamous cell carcinoma.	Head Neck.	35(6)	800-8	2013
Isohashi F., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u>	Dose-volume histogram predictors of chronic gastrointestinal complications after radical hysterectomy and postoperative concurrent nedaplatin-based chemoradiation therapy for early-stage cervical cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	85(3)	728-34	2013
玉利慶介, <u>小川和彦</u> .	放射線治療.	生産と技術	65(1)	90-91	2013
<u>Shikama N.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , et al.	Validation of nomogram-based prediction of survival probability after salvage reirradiation of head and neck cancer.	Jpn. J Clin. Oncol.	43	154-160	2013
Igaki H., <u>Onishi H.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al. Japanese Society for Therapeutic Radiology and Oncology Health Insurance Committee.	A newly introduced comprehensive consultation fee in the national health insurance system in Japan: A promotive effect of multidisciplinary medical care in the field of radiation oncology--Results from a questionnaire survey.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43	1233-7	2013
Satoh Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Volume-based parameters measured by using FDG PET/CT in patients with stage I NSCLC treated with stereotactic body radiation therapy: prognostic value.	Radiology		Sep 12	2013
Niibe Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Oligometastases/Oligo-recurrence of lung cancer.	Pulm. Med. 2013		438236	2013

<u>Onishi H.</u> , et al.	Stereotactic body radiation therapy for stage I non-small-cell lung cancer: a historical overview of clinical studies.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(4)	345-50	2013
Watanabe M., <u>Onishi H.</u> , et al.	Intrafractional setup errors in patients undergoing non-invasive fixation using an immobilization system during hypofractionated stereotactic radiotherapy for lung tumors.	J. Radiat. Res.	54(4)	762-8	2013
Nambu A., <u>Onishi H.</u> , et al.	Rib fracture after stereotactic radiotherapy for primary lung cancer: prevalence, degree of clinical symptoms, and risk factors.	BMC Cancer.	13	68	2013
Matsuo Y., <u>Onishi H.</u> , Nakagawa K., et al.	Guidelines for respiratory motion management in radiation therapy.	J. Radiat. Res.	54(3)	561-8.	2013
Maehata Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Immune responses following stereotactic body radiotherapy for stage I primary lung cancer.	Biomed. Res. Int.	73	1346	2013
Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Hypofractionated stereotactic radiotherapy with the hypoxic sensitizer AK-2123 (sanazole) for reirradiation of brain metastases: a preliminary feasibility report.	Anticancer Res.	33(4)	1773-6	2013
Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Feasibility trial for daily oral administration of the hypoxic sensitizer AK-2123 (Sanazole) in radiotherapy.	Anticancer Res.	33(2)	643-6	2013
<u>小泉雅彦</u>	転移性骨腫瘍-治療の進歩 転移性骨に対する放射線療法	臨床整形外科	48	675-682	2013
<u>小泉雅彦</u>	シンポジウム 転移性骨腫瘍への治療戦略(脊椎・骨盤・四肢) がん骨転移の放射線治療戦略	日本整形外科学会雑誌	87(10)	883-9	2013
大谷侑輝, <u>小泉雅彦</u> .	放射線治療と医学物理士	生産と技術	65(2)	91	2013
井上俊彦, <u>小泉雅彦</u> , 他.	早期肺癌の体幹部定位放射線治療における肋骨骨折の臨床的検討	臨床放射線	58(12)	743-1750	2013
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Longitudinal assessments of quality of life and late toxicities before and after definitive chemoradiation for esophageal cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.		Nov 11	2013

Onoe T., <u>Kozuka T.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al.	High-dose-rate interstitial brachytherapy for gynecologic malignancies--dosimetric changes during treatment period.	J. Radiat. Res.	54(4)	663-70	2013
<u>Nakagawa K.</u> , et al.	Impact of flattening-filter-free techniques on delivery time for lung stereotactic volumetric modulated arc therapy and image quality of concurrent kilovoltage cone-beam computed tomography: a preliminary phantom study.	J. Radiat. Res.		Aug 26	2013
Haga A., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Dose verification of volumetric modulated arc therapy (VMAT) by use of in-treatment linac parameters.	Radiol. Phys. Technol.		Mar 12	2013
Takahashi W., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Verification of planning target volume settings in volumetric modulated arc therapy for stereotactic body radiation therapy by using in-treatment 4-dimensional cone beam computed tomography.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	86(3)	426-31	2013
Omori M., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Eleven secondary cancers after hematopoietic stem cell transplantation using a total body irradiation-based regimen in 370 consecutive pediatric and adult patients.	Springerplus	2	424	2013
大倉孝之, 中川恵一, 他.	胸郭運動を考慮した横隔膜の運動モデル	Medical Imaging Technology	31(3)	189-197	2013
Harada H., <u>Kozuka T.</u> , et al.	Dose-escalation study of three-dimensional conformal thoracic radiotherapy with concurrent S-1 and cisplatin for inoperable stage III non-small-cell lung cancer.	Clin. Lung. Cancer.	13(4)	440-5	2013
Yuasa T., <u>Kozuka T.</u> , et al.	Early onset recall pneumonitis during targeted therapy with sunitinib.	BMC Cancer.	13:	3	2013
Fujimaki Y., <u>Terahara A.</u> , et al.	Non-invasive objective evaluation of radiotherapy-induced dry mouth.	J. Oral. Pathol. Med.		Jun 7	2013
寺原敦朗.	悪性グリオーマに対する放射線治療の現状と展望.	癌と化学療法	40 (10)	1278-82	2013

Koizumi T., <u>Sasaki S.</u> , et al.	Efficacy of erlotinib plus concurrent whole-brain radiation therapy for patients with brain metastases from non-small cell lung cancer.	Ann. Palliat. Med.	2	111-113	2013
<u>Numasaki H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , <u>Ando Y.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , <u>Terahara A.</u> , <u>Nakamura K.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.; Japanese Society for Therapeutic Radiology and Oncology Database Committee.	Japanese structure survey of radiation oncology in 2009 with special reference to designated cancer care hospitals.	Int. J. Clin. Oncol.	18(5)	775-83	2012
<u>Teshima T.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , <u>Ando Y.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , <u>Terahara A.</u> , <u>Nakamura K.</u> , et al.; Japanese Society for Therapeutic Radiology and Oncology Database Committee.	Japanese structure survey of radiation oncology in 2009 based on institutional stratification of the Patterns of Care Study.	J. Radiat. Res.	53 (5)	710-21	2012
<u>Ozawa S.</u> , <u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2004.	Esophagus,	9(2)	75-98	2012
<u>Tomita T.</u> , <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Patterns of radiotherapy practice for patients with cervical cancer in Japan (2003-2005): Changing trends in the pattern of care process.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	83(5)	1506-13.	2012
<u>Numasaki H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , <u>Ando Y.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , <u>Terahara A.</u> , <u>Nakamura K.</u> , <u>Teshima T.</u> , and Japanese Society of Therapeutic Radiology and Oncology Database Committee.	National medical care system may impede fostering of true specialization of radiation oncologists: Study based on structure survey in Japan.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(1)	e111-7	2012

<u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Shikama N.</u> , <u>Kenjo M.</u> , <u>Yamauchi C.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Prospective multi-institutional study of definitive radiotherapy with high-dose rate intracavitary brachytherapy in patients with non-bulky (<4 cm) stage I,II uterine cervical cancer (JAROG0401/JROSG04-2).	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(1)	e49-56	2012
手島昭樹, 沼崎穂高, 他.	HDR 小線源治療の実態 mHDR 研究会調査と JASTRO 定期構造調査との比較分析.	臨床放射線	57 (6)	809-814	2012
<u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Administration of salubrinal enhances radiation-induced cell death of SW1353 chondrosarcoma cells.	Anticancer Res.	32 (9)	3667-73	2012
Ogata T., <u>Teshima T.</u> , et al.	Anti-IL-6 receptor antibody does not ameliorate radiation pneumonia in mice. <i>Exp.</i>	Ther. Med.	4 (2)	273-276	2012
Mizuno H., <u>Teshima T.</u> , et al.	Homogeneity of GAFCHROMIC EBT2 film among different lot numbers.	J. Appl. Clin. Med. Phys.	13 (4)	3763	2012
Tokumar S., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Shikama N.</u> , <u>Kenjo M.</u> , <u>Yamauchi C.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Insufficiency fractures after pelvic radiation therapy for uterine cervical cancer: An analysis of subjects in a prospective multi-institutional trial, and cooperative study of the Japan Radiation Oncology Group (JAROG) and Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG).	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	84 (2)	e195-e200	2012
Yagi M., <u>Koizumi M.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Maximizing the availability of positron emitting nuclei for proton therapy verification using different beam irradiation sequences.	Med. Phys.	39(6)	3771	2012
手島昭樹	放射線治療環境の新時代	Rad. Fan.	10(13)	1-4	2012
Takaha N., <u>Miki T.</u> , et al.	Expression and role of HMGA1 in renal cell carcinoma.	J. Urol.	187(6)	15-2222	2012
Takaha N., <u>Miki T.</u> , et al.	Significant induction of apoptosis in renal cell carcinoma cells transfected with cationic multilamellar liposomes containing the human interferon- β gene through activation of the intracellular type I interferon signal pathway.	Int. J. Oncol.	1441-46.	1441-46.	2012
Takeuchi I., <u>Miki T.</u> , et al.	High mobility group protein AT-hook 1 (HMGA1) is associated with the development.	Prostate.	72(10)	1124-32	2012

Walter S., <u>Miki T.</u> , et al.	Multipeptide immune response to cancer vaccine IMA901 after single-dose cyclophosphamide associates with longer patient survival.	Nat. Med.	18(8)	1254-61	2012
Okihara K., <u>Miki T.</u> , et al.	Quantitative evaluation of lower urinary tract symptoms using a visual analog scale in men undergoing permanent brachytherapy.	Brachytherapy	11(4)	265-7	2012
Naitoh Y., <u>Miki T.</u> , et al.	Health related quality of life for monosymptomatic enuretic children and their mothers.	J. Urol.	188(5)	1910-14	2012
藤也寸志, <u>日月裕司</u> , 他.	日本食道学会 NCD 部会:【よくわかる NCD】 NCD への取り組み 消化器外科 食道外科.	臨床外科	67(6)	768-771	2012
<u>日月裕司</u> .	食道癌サルベージ食道切除手術.	手術	66(10)	1315-20	2012
<u>日月裕司</u> , 他.	本邦の独自性尊重型となっている取扱い規約とそのコンセプト(食道癌).	癌の臨床	58829	63-9	2012
Uehara T., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Prognostic impact of the history of breast cancer and of hormone therapy in uterine carcinosarcoma.	Int. J. Gynecol. Cancer	22	280-5	2012
Togami S., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Clinicopathological and prognostic impact of human epidermal growth factor receptor type 2 (HER2) and hormone receptor expression in uterine papillary serous carcinoma.	Cancer Sci.	103	926-32	2012
Togami S., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Serous adenocarcinoma of the uterine cervix: a clinicopathological study of 12 cases and a review of the literature.	Gynecol. Obstet. Invest.	73	26-31	2012
Kuroda Y., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Impact of concurrent chemotherapy on definitive radiotherapy for women with FIGO IIIb cervical cancer.	J. Radiat. Res.	53	588-93	2012
Ikeda S., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Combination of squamous cell carcinoma-antigen, carcinoembryonic antigen, and carbohydrate antigen 19-9 predicts positive pelvic lymph nodes and parametrial involvement in early stage squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	J. Obstet. Gynaecol. Res.	38	1260-5	2012

Eto T., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Clinicopathological prognostic factors and the role of cytoreduction in surgical stage IVb endometrial cancer: A retrospective multi-institutional analysis of 248 patients in Japan.	Gynecol. Oncol.	127	338-44	2012
Uehara T., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Prognostic impact of the history of breast cancer and of hormone therapy in uterine carcinosarcoma.	Int. J. Gynecol. Cancer.	22	280-5	2012
Asaga S., <u>Kinoshita T.</u>	A case of multidisciplinary treatment for a massive locoregional recurrence of breast cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.	42(9)	865	2012
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Primary leiomyosarcoma of the breast.	The Breast Journal.	18(1)	81-82	2012
Shien T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	A Randomized controlled trial comparing primary tumour resection plus systemic therapy with systemic therapy alone in metastatic breast cancer (PRIM-BC): Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1017.	Jpn. J. Clin. Oncol.	42(10)	970-3	2012
Tamaki Y., <u>Kinoshita T.</u> , et al. Japanese One-step Nucleic Acid Amplification Study Group.	Routine clinical use of the one-step nucleic acid amplification assay for detection of sentinel lymph node metastases in breast cancer patients: results of a multicenter study in Japan.	Cancer	118(14)	3477-83	2012
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	The differences in the histological types of breast cancer and the response to neoadjuvant chemotherapy: the relationship between the outcome and the clinicopathological characteristics.	The Breast.	21(3)	289-295	2012
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Sentinel lymph node biopsy using indigo carmine blue dye and the validity of '10% rule' and '4 nodes rule'.	The Breast.	21(4)	455-8	2012
Ono M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Tumor- infiltrating lymphocytes are correlated with response to neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer.	Breast Cancer Res. Treat.	132(3)	793-805	2012

Tateishi U., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Comparative study of the value of dual tracer PET/CT in evaluating breast cancer.	Cancer Sci.	103(9)	1701-07	2012
Tateishi U., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Neoadjuvant chemotherapy in breast cancer: prediction of pathologic response with PET/CT and dynamic contrast-enhanced MR imaging--prospective assessment.	Radiology	263(1)	53-63	2012
Hirokawa T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	A clinical trial of curative surgery under local anesthesia for early breast cancer.	Breast J.	18(2)	195-7	2012
Kikuyama M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Development of a novel approach, the epigenome-based outlier approach, to identify tumor-suppressor genes silenced by aberrant DNA methylation.	Cancer Letters	322(2)	204-212	2012
Yoshida M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Loss of heterozygosity on chromosome 16q suggests malignancy in core needle biopsy specimens of intraductal papillary breast lesions.	Virchows Arch.	460(5)	497-504	2012
Masuda N., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Neoadjuvant anastrozole versus tamoxifen in patients receiving goserelin for premenopausal breast cancer (STAGE): a double-blind, randomised phase 3 trial.	Lancet Oncol.	13(4)	345-352	2012
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Primary leiomyosarcoma of the breast.	Breast J.	18(1)	81-2	2012
<u>木下貴之</u>	術前ホルモン療法の現状と課題.	癌と化学療法	39(13)	2479-248	2012
垂野香苗, <u>木下貴之</u>	非浸潤性小葉癌(LCIS)の治療方針.	日本臨床		70397-40	2012
神保健二郎, <u>木下貴之</u> , 他	乳癌の疫学.	臨床外科	67(11)	66-71	2012
久保晶子, <u>木下貴之</u> , 他	乳癌薬物治療に伴う妊孕性への影響に関する情報提供の実態調査.	癌と化学療法	39(3)	399-403	2012
<u>木下貴之</u>	術前化学療法施行例の外科治療 乳房温存療法,センチネルリンパ節生検の実際. 医学のあゆみ	乳癌診療 Update 最新診療コンセンサス 2012.	242(1)	79-85	2012
<u>木下貴之</u>	乳癌診療における術前薬物療法と外科治療の現状.	日本医事新報	4605	78-83	2012

木下貴之	早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法 切らないので痕跡が目立たない低侵襲治療法 適応を間違えれば再発の危険性も.	ライフライン 21 がんの先進医療	5	19-22	2012
木下貴之	詳細な病理診断にて発見されるセンチネルリンパ節の微小な潜在的転移の予後に対する影響は,大きなものにはならない.	Critical Eyes on Clinical Oncology	41	4-5	2012
Abe Y., Goya T., et al.	Clinical implications of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography at delayed phase for diagnoses and prognosis of malignant pleural mesothelioma.	Oncol. Rep.	27	333-8	2012
Kawaguchi K., Japanese Joint Committee for Lung Cancer Registration	Modern surgical results of lung cancer involving neighboring structures: a retrospective analysis of 531 pT3 cases in a Japanese Lung Cancer Registry Study.	J. Thorac.Car. Surg.,	144	431-7	2012
Yoshino I., Japanese Joint Committee for Lung Cancer Registration	Surgical outcome of stage IIIA – cN2/pN2 non-small-cell lung cancer patients in Japanese Lung Cancer Registry Study in 2004.	J. Thorac. Onco.	7	850-5	2012
Abe Y., Goya T., et al.	Clinical implications of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography at delayed phase for diagnosis and prognosis of malignant pleural mesothelioma	Oncol. Rep.	27	333-338	2012
山内智香子	乳癌診療 Update-最新診療コンセンサス 2012】最新治療コンセンサス【外科・放射線治療】 原発性乳癌に対する放射線療法 その役割とあらたな知見	医学のあゆみ	242(1)	92-8	2012
山内智香子	【知っておきたい放射線・粒子線治療】乳癌に対する放射線療法の現況	臨床外科	67(8)	977-85	2012
山内智香子	乳癌(第2版)-基礎と臨床の最新研究動向-】乳癌の治療戦略 放射線療法 乳房温存療法における放射線療法の役割	日本臨床	70(7)	533-37	2012
山内智香子	【高齢者乳癌(2)】高齢者乳癌の放射線療法	乳癌の臨床	27(4)	389-97	2012

杉江知治, 山内智香子, 他	【過渡期の家族性腫瘍診療、その現状と展望】 遺伝性・家族性乳がん診療のコンセンサス多施設アンケート結果から	家族性腫瘍	12(2)	45-9	2012
Funatsu H., <u>Uno T.</u> , et al.	Can pretreatment ADC values predict recurrence of bladder cancer after transurethral resection?	Eur. J. Radiol.	81(11)	3115-9	2012
Harada R., <u>Uno T.</u> , et al.	The incidence and significance of retropharyngeal lymph node metastases in hypopharyngeal cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.	42(9)	794-9	2012
Yokota H., <u>Uno T.</u> , et al.	Dumbbell-shaped nonpsammomatous malignant melanotic schwannoma of the cervical spinal root.	Spine J.	12(4)	e14-7	2012
Akutsu Y., <u>Uno T.</u> , et al.	The number of pathologic lymph nodes involved is still a significant prognostic factor even after neoadjuvant chemoradiotherapy in esophageal squamous cell carcinoma.	J. Surg. Oncol.	105(8)	756-60	2012
Sasaki R., <u>Uno T.</u> , et al.	Multi-institutional analysis of solitary extramedullary plasmacytoma of the head and neck treated with curative radiotherapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(2)	626-34	2012
Asai K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Radiation-induced rib fractures after hypofractionated stereotactic body radiation therapy: risk factors and dose-volume relationship.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	84(3)	768-73	2012
Arimura H., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Computerized estimation of patient setup errors in portal images based on localized pelvic templates for prostate cancer radiotherapy.	J. Radiat. Res.	53(6)	961-72	2012
<u>Nakamura K.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Kozuka T.</u> , <u>Shikama N.</u> , et al.	Patterns of practice in intensity-modulated radiation therapy and image-guided radiation therapy for prostate cancer in Japan.	Jpn. J. Clin. Oncol.	42	53-57	2012
Atsumi K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Esophageal stenosis associated with tumor regression in radiotherapy for esophageal cancer: frequency and prediction.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(5)	1973-80	2012

Yoshitake T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Stereotactic body radiation therapy for stage I non-small cell lung cancer patients with chronic respiratory insufficiency requiring domiciliary oxygen therapy.	Anticancer Res.	32(9)	4041-4	2012
Chikui T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Pharmacokinetic analysis based on dynamic contrast-enhanced MRI for evaluating tumor response to preoperative therapy for oral cancer.	J. Magn. Reson. Imaging.	36	589-597	2012
Hatakenaka M., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Acute cardiac impairment associated with concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer: magnetic resonance evaluation.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	83(1)	e67-73	2012
渥美和重, 中村和正, 他	遠隔放射線治療計画支援: 当院の現状と将来.	福岡医誌	103(8)	159-162	2012
Sekine I., <u>Sumi M.</u> , et al.	Phase I study of concurrent high-dose three-dimensional conformal radiotherapy with chemotherapy using cisplatin and vinorelbine for unresectable stage III non-small-cell lung cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(2)	953-959	2012
Kuroda Y., <u>Sumi M.</u> , et al.	Impact of concurrent chemotherapy on definitive radiotherapy for women with FIGO IIIb cervical cancer.	J. Radiat. Res.	53(4)	588-593	2012
Minami-Shimmyo Y., <u>Sumi M.</u> , et al.	Risk factors for treatment-related death associated with chemotherapy and thoracic radiotherapy for lung cancer.	J. Thorac. Oncol.	7(1)	177-182	2012
Murakami N., <u>Sumi M.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al.	¹⁰⁶ Ruthenium plaque therapy (RPT) for retinoblastoma.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	84(1)	59-65	2012
Mayahara H., <u>Sumi M.</u> , et al.	Effect of chemotherapy on survival after whole brain radiation therapy for brain metastases: a single-center retrospective analysis.	J. Cancer. Res. Clin. Oncol.	138(7)	1239-47	2012
Horinouchi H., <u>Sumi M.</u> , et al.	Brain metastases after definitive concurrent chemoradiotherapy in patients with stage III lung adenocarcinoma: carcinoembryonic antigen as a potential predictive factor.	Cancer Sci.	103(4)	756-9	2012

Sekine I., <u>Sumi M.</u> , et al.	Phase I study of concurrent high-dose three-dimensional conformal radiotherapy with chemotherapy using cisplatin and vinorelbine for unresectable stage III non-small-cell lung cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(2)	953-59	2012
Minami-Shimmyo Y., <u>Sumi M.</u> , et al.	Risk factors for treatment-related death associated with chemotherapy and thoracic radiotherapy for lung cancer.	J. Thorac. Oncol.	7(1)	177-182.	2012
<u>Toita T.</u> , et al. Cervical cancer vulva cancer committee of the Japanese gynecologic oncology group.	Feasibility and acute toxicity of concurrent chemoradiotherapy (CCRT) with high-dose rate intracavitary brachytherapy (HDR-ICBT) and 40-mg/m ² weekly cisplatin for Japanese patients with cervical cancer: results of a Multi-Institutional Phase 2 Study (JGOG1066).	Int. J. Gynecol. Cancer.	22(8)	1420-6	2012
<u>Toita T.</u> , et al., Cervical Cancer (Vulva Cancer) Committee of Japanese Gynecologic Oncology Group (JGOG).	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with high-dose-rate intracavitary brachytherapy in patients with locally advanced uterine cervical cancer: efficacy and toxicity of a low cumulative radiation dose schedule.	Gynecol. Oncol.	126(2)	211-6	2012
Nagai Y., <u>Toita T.</u> ,	Concurrent chemoradiotherapy with paclitaxel and cisplatin for adenocarcinoma of the cervix.	Anticancer Res.	32(4)	1475-9	2012
Ariga T., <u>Ogawa K.</u> , <u>Toita T.</u> , et al.	Radical radiotherapy for superficial esophageal cancer: impact of clinical N stage on survival.	Anticancer Res.	32(8)	3371-6	2012
<u>Ogawa K.</u> , <u>Toita T.</u> , et al.	Phase II trial of radiotherapy after hyperbaric oxygenation with multiagent chemotherapy (procarbazine, nimustine, and vincristine) for high-grade gliomas: long-term results.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(2)	732-8	2012
Viswanathan AN., <u>Toita T.</u> , et al.	International Brachytherapy Practice Patterns: A Survey of the Gynecologic Cancer Intergroup (GCIG).	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(1)	250-5	2012
Sawaki M., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Feasibility of intraoperative radiation therapy for early breast cancer in Japan: a single-center pilot study and literature review.	Breast Cancer	Sept. 25		2012

Nomura M., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Recursive partitioning analysis for new classification of patients with esophageal cancer treated by chemoradiotherapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	84(3)	786-92	2012
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	A case of cervical multicentric Castleman disease treated with intensity-modulated radiation therapy using helical tomotherapy.	Jpn. J. Radiol.	30(4)	349-53	2012
Shimizu H., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Evaluation of parotid gland function using equivalent cross-relaxation rate imaging applied magnetization transfer effect.	J. Radiat. Res.	53 (1)	138-44	2012
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Preliminary results of intensity modulated radiation therapy with helical tomotherapy for prostate cancer.	J. Cancer Res. Clin. Oncol.	138(11)	1931-6	2012
Nakahara R., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Treatment outcomes of definitive chemoradiotherapy for patients with hypopharyngeal cancer.	J. Radiat. Res.	53(6)	906-15	2012
Nomura M., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Prognostic impact of the 6th and 7th American joint committee on cancer TNM staging systems on esophageal cancer patients treated with chemoradiotherapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(2)	946-52	2012
Nomura M., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Predictive factors for radiation pneumonitis in esophageal cancer patients treated with chemoradiotherapy without prophylactic nodal irradiation.	Br. J. Radiol.	85(1014)	813-8	2012
<u>古平毅</u>	頭頸部癌放射線治療の現状と展望 IMRTを中心とした高精度放射線治療による個別化治療の展開.	JCR News	168	5-6	2012
<u>古平毅</u>	知っておきたい新しいがん治療 トモセラピー	緩和ケア	22(2)	140-1	2012
<u>古平毅</u>	知っておきたい放射線・粒子線治療 1)頭頸部癌に対する放射線治療の現況と展望.	臨床外科	67(8)	970-6	2012
富田夏夫, <u>古平毅</u> , 他.	トモセラピー強度変調放射線治療専用機について	RadFan	10(3)	33-35	2012
<u>Onishi H.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Large prostate motion produced by anal contraction.	Radiother. Oncol.	104(3)	390-4	2012

Murakami Y., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Long-term outcomes of intraluminal brachytherapy in combination with external beam radiotherapy for superficial esophageal cancer.	Int. J. Clin. Oncol.	17(3)	263-71	2012
Emi M., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Neoadjuvant chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil for esophageal cancer.	Cancer Chemother. Pharmacol.	69(6)	1499-1505	2012
Murakami E., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Hepatic arterial infusion chemotherapy using 5-fluorouracil and systemic interferon- α for advanced hepatocellular carcinoma in combination with or without three-dimensional conformal radiotherapy to venous tumor thrombosis in hepatic vein or inferior vena cava.	Hepatol. Res.	42(5)	442-53	2012
Iraha Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Diffusion-weighted MRI and PSA correlations in patients with prostate cancer treated with radiation and hormonal therapy.	Anticancer Res.	32(10)	4467-71	2012
Yoshioka Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Analysis of late toxicity associated with external beam radiation therapy for prostate cancer with uniform setting of classical 4-field 70 Gy in 35 fractions: a survey study by the Osaka Urological Tumor Radiotherapy Study Group.	J. Radiat. Res.	54(1)	113-25	2012
Mabuchi S., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Comparison of the prognoses of FIGO Stage I to Stage II adenosquamous carcinoma and adenocarcinoma of the uterine cervix treated with radical hysterectomy.	Int. J. Gynecol. Cancer.	22(8)	1389-97	2012
Takahashi Y., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	The usefulness of an independent patient-specific treatment planning verification method using a benchmark plan in high-dose-rate intracavitary brachytherapy for carcinoma of the uterine cervix.	J. Radiat. Res.	53(6)	936-44	2012

Akiyama H., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Dose reduction trial from 60 Gy in 10 fractions to 54 Gy in 9 fractions schedule in high-dose-rate interstitial brachytherapy for early oral tongue cancer.	J. Radiat. Res.	53(5)	722-6	2012
<u>Ogawa K.</u> , et al.	Treatment and prognosis of angiosarcoma of the scalp and face: a retrospective analysis of 48 patients.	Br. J. Radiol.	85(1019)	e1127-33	2012
Mabuchi S., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Impact of histological subtype on survival of patients with surgically-treated stage IA2-IIB cervical cancer: adenocarcinoma versus squamous cell carcinoma.	Gynecol. Oncol.	127(1)	114-20	2012
Yamashiro T., <u>Ogawa K.</u> , et al.	CT scans of the chest in carriers of human T-cell lymphotropic virus type 1: presence of interstitial pneumonia.	Acad. Radiol.	19(8)	952-7	2012
<u>Ogawa K.</u> , <u>Onishi H.</u> , et al.	Japanese Radiation Oncology Study Group Working Subgroup of Gastrointestinal Cancers. Concurrent radiotherapy and gemcitabine for unresectable pancreatic adenocarcinoma: impact of adjuvant chemotherapy on survival.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	83(2)	559-65	2012
Nishimura Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Clinical practice and outcome of radiotherapy for esophageal cancer between 1999 and 2003: The Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) Survey.	Int. J. Clin. Oncol.	17(1)	48-54	2012
中井康友, <u>小川和彦</u> , 他.	前立腺全摘術後の救済放射線療法.	泌尿器外科	25(8)	1675-77	2012
<u>Shikama N.</u> , <u>Sasaki S.</u> , et al.	Treatment outcome of elderly patients with glioblastoma who received combination therapy.	Am. J. Clin. Oncol.	35	486-9	2012
Nakamura N., <u>Shikama N.</u> , et al.	Patterns of practice in palliative radiotherapy for painful bone metastases: A survey in Japan.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	83	e117-20	2012
Nakamura N., <u>Shikama N.</u> , et al.	Frequency and clinical significance of previously undetected incidental findings detected on computed tomography simulation scans for breast cancer patients.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	84	602-5	2012

<u>Shikama N.</u> , et al.	Identifying patients who are unsuitable for accelerated partial breast irradiation using three-dimensional external beam conformal techniques.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	83	e313-8	2012
Nakamura N., <u>Shikama N.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al.	The relationship between the bladder volume and optimal treatment planning in definitive radiotherapy for localized prostate cancer.	Acta. Oncologica.	51(6)	730-4	2012
<u>鹿間直人</u>	放射線治療における個別化－乳房温存療法後の放射線療法の多様化と個別化．	腫瘍内科	10	126-30	2012
<u>鹿間直人</u>	多施設共同大規模データベースの意義 JROSG(Japanese Radiation Oncology Group)05-5試験の意義	日本臨床 乳癌(第2版)基礎と臨床の最新研究動向	70	773-6	2012
<u>鹿間直人</u>	DCISの放射線治療	乳癌の臨床	27	681-5	2012
<u>Onishi H.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Large prostate motion produced by anal contraction.	Radiother. Oncol.	104(3)	390-4	2012
<u>Onishi H.</u> , et al.	Stereotactic body radiotherapy for metachronous multisite oligo-recurrence: a long-surviving case with sequential oligo-recurrence in four different organs treated using locally radical radiotherapy and a review of the literature	Pulm. Med.		713073	2012
Satoh Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Value of dual time point F-18 FDG-PET/CT imaging for the evaluation of prognosis and risk factors for recurrence in patients with stage I non-small cell lung cancer treated with stereotactic body radiation therapy.	Eur. J. Radiol.	81(11)	3530-4	2012
<u>Onishi H.</u> , et al.	Serious gastric ulcer event after stereotactic body radiotherapy (SBRT) delivered with concomitant vinorelbine in a patient with left adrenal metastasis of lung cancer.	Acta. Oncol.	51(5)	624-8	2012
南部敦史, <u>大西洋</u> , 他	肺の呼吸・心電同期 CT.	映像情報メデikal	44(8 増刊号)	67-74	2012
<u>大西洋</u> , 他	【連載講座放射線治療】体幹部位定位放射線治療.	Radioisotopes	61(1)	31-43	2012

前畠良康, 大西洋, 他	化学放射線療法により 5 年無病生存が得られた骨盤壁に至る巨大膀胱癌の 1 例.	臨床放射線	57(6)	849-852	2012
栗山健吾, 大西洋, 他	乳癌に対する定位放射線治療の初期経験.	臨床放射線	57(6)	853-60	2012
Sumida I., Koizumi M., et al.	Quality assurance of MLC leaf position accuracy and relative dose effect at the MLC abutment region using an electronic portal imaging device.	J. Radiat. Res.	53(5)	798-806	2012
Yoshida K., Koizumi M., et al.	Interstitial brachytherapy using virtual planning and Doppler transrectal ultrasonography guidance for internal iliac lymph node metastasis.	J. Radiat. Res.	53(1)	154-8	2012
Akino Y., Koizumi M., et al.	Megavoltage cone-beam computed tomography dose and necessity of reoptimization for imaging dose-integrated intensity- modulated radiotherapy for prostate cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(5)	1715-22	2012
安藤裕	私と医療 医療における情報通信技術 (IT)の活用	月刊新医療	39(4)	73	2012
安藤裕, 他	電子カルテと他システムの連携	映像情報 MEDICAL	44(2)	168-176	2012
安藤裕	放射線治療専門病院における放射線治療情報システム	Rad. Fan.	10(3)	39-42	2012
安藤裕	Part 画像処理と解析 第 1 章 基礎理論 5 . 画像の記録・伝送	医用画像工学ハンドブック		525-542	2012
向井まさみ, 安藤裕, 他	多施設共同前向き観察研究のための施設間情報連携機能プロトタイプの構築	臨床放射線	57(3)	1877-85	2012
Takahashi W., Nakagawa K., et al.	Stereotactic body radiotherapy for metastatic lung cancer as oligo-recurrence: an analysis of 42 cases.	Pulm. Med.		454107	2012
Yamashita H., Nakagawa K., et al.	Four-dimensional measurement of the displacement of metal clips or postoperative surgical staples during 320-multislice computed tomography scanning of gastric cancer.	Radiat. Oncol.	7	137	2012
Nakagawa K., et al.	4D digitally reconstructed radiography for verifying a lung tumor position during volumetric modulated arc therapy.	J. Radiat. Res.	53(4)	628-32	2012

<u>Nakagawa K.</u> , et al.	4D registration and 4D verification of lung tumor position for stereotactic volumetric modulated arc therapy using respiratory-correlated cone-beam CT.	J. Radiat. Res.	54(1)	152-6	2012
Kawashima M., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Comparison of total MU and segment areas in VMAT and step-and-shoot IMRT plans.	Radiol. Phys. Technol.	6(1)	14-20	2012
Isayama H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Clinical benefit of radiation therapy and metallic stenting for unresectable hilar cholangiocarcinoma.	World J. Gastroenterol.	18(19)	2364-70	2012
Fukui M., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Effectiveness of using clinical guidelines for conducting palliative care family meetings in Japan.	Support Care Cancer.	21(1)	53-8	2012
Igaki H., <u>Nakagawa K.</u>	Radiological clinical practice and its safety in hospital.	Nihon Rinsho	70(3)	475-8	2012
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Four-dimensional measurement of the displacement of internal fiducial and skin markers during 320-multislice computed tomography scanning of breast cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	84(2)	331-5	2012
Imae T., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Motion analysis of target during stereotactic radiotherapy of lung tumors using volumetric modulated arc therapy.	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi	68(2)	153-61	2012
Kida S., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	In-treatment 4D cone-beam CT with image-based respiratory phase recognition.	Radiol. Phys. Technol.	5(2)	138-47	2012
Takahashi W., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Evaluation of heterogeneity dose distributions for Stereotactic Radiotherapy (SRT): comparison of commercially available Monte Carlo dose calculation with other algorithms.	Radiat. Oncol.	7	20	2012
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Correlation between bladder volume and irradiated dose of small bowel in CT-based planning of intracavitary brachytherapy for cervical cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.	42(4)	302-8	2012
Sakumi A., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Single-arc volumetric modulated arc therapy planning for left breast cancer and regional nodes.	J. Radiat. Res.	53(1)	151-3	2012

Hashimoto M., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Investigation of the feasibility of a simple method for verifying the motion of a binary multileaf collimator synchronized with the rotation of the gantry for helical tomotherapy.	J. Appl. Clin. Med. Phys.	13(1)	3700	2012
Koga T., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Extended field stereotactic radiosurgery for recurrent glioblastoma.	Cancer	118(17)	4193-200	2012
Koga T., <u>Terahara A.</u> , et al.	Outcomes of diffusion tensor tractography-integrated stereotactic radiosurgery.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	82(2)	799-802	2012
Isobe K., <u>Terahara A.</u> , et al.	Pathological response and prognosis of stage III non-small cell lung cancer patients treated with induction chemoradiation.	Asia Pac. J. Clin. Oncol.	8 (3)	260-266	2012
<u>佐々木茂.</u>	肺癌放射線治療の合併症とその対策	日本胸部臨床	71	364-372	2012
Tomita T., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Changing trend in the patterns of pretreatment diagnostic assessment for patients with cervical cancer in Japan.	Gynecologic Oncology	123	577-80	2011
Ono T., <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Respiratory monitoring with an acceleration sensor.	Physics in Medicine Biology	56	6279-89	2011
<u>Numasaki H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , <u>Ando Y.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , <u>Terahara A.</u> , <u>Nakamura K.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Japanese structure survey of radiation oncology in 2007 with special reference to designated cancer care hospitals.	Strahlenther. Onkol.	187(3)	167-74	2011
Ozawa S., <u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan, 2003	Esophagus	8	9-29	2011
古平毅, 戸板孝文, 宇野隆, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 子宮頸癌小作業部会	婦人科疾患の診断と治療 update 治療 □ 放射線療法 10) 放射線治療の現況 PCS より.	臨床放射線	56(11)	1649-56	2011
手島昭樹, 沼崎穂高, 小泉雅彦, 安藤裕, 塚本信宏, 寺原敦朗, 中村和正, 他. JASTRO データベース委員会.	全国放射線治療施設の 2009 年 定期構造調査報告(第 1 報).	日本放射線腫瘍学 放射線腫瘍学データセンター http://www.jastro.or.jp/aboutus/datasenter.php		1-24	2011/12/21

手島昭樹, 沼崎穂高, 小泉雅彦, 安藤裕, 塚本信宏, 寺原敦朗, 中村和正, 他. JASTRO データベース委員会.	全国放射線治療施設の 2009 年定期構造調査報告(第 2 報).	日本放射線腫瘍学会 放射線腫瘍学データセンタ — http://www.jastro.or.jp/aboutus/datasenter.php		1-23	2011/12/21
Ogawa K., Nakamura K., Onishi H., Koizumi M., Teshima T., et al.	Radical external beam radiotherapy for clinically localized prostate cancer in Japan: Changing trends in the Patterns of Care Process Survey.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	81(5)	1310-18	2011
Ogata T., Teshima T., et al.	Carbon ion irradiation suppresses metastatic potential of human non-small cell lung cancer A549 cells through the phosphatidylinositol-3-kinase/Akt signaling pathway.	J. Radiat. Res.	52(3)	374-379	2011
Yogo A., Teshima T., et al.	Measurement of DNA double-strand break yield in human cancer cells by high-current, short-duration bunches of laser-accelerated protons.	Jpn. J. Appl. Phys.	50 (106401)	1-7	2011
Yoshioka M., Teshima T., et al.	Examination of fundamental characteristics of a polymer gel detection in a proton beam irradiation.	Radiation Measurements.	46(1)	64-71	2011
手島昭樹	< 夢はバラ色 > 日本学術振興会先端研究拠点事業 - 拠点形成型 - 「医学物理研究教育拠点の形成」	生産と技術	63(4)	98-100	2011
横内秀起, 手島昭樹, 他.	逐次科学放射線療法で臨床的著効が得られた切除不能縦隔癌の一例.	癌と科学療法.	38(1)	2149-96	2011
Takaha N., Miki T., et al.	Feasibility of tri-weekly docetaxel-based chemotherapy for elderly patients (age 75 and older) with castration-resistant prostate cancer.	Urol. Int.	87(3)	263-9	2011
Fujimoto H., Miki T., et al.	Oncological outcomes of the registered prostate cancer patients diagnosed in Japan: 2004 report from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association.	Int. J. Urol.	18	876-881	2011
Kawauchi A., Miki T., et al.	Laparoscopic single-site surgery for pediatric patients in urology.	Curr. Opin. Urol.	21(4)	303-308	2011

Ochiai A., <u>Miki T.</u> , et al.	Prostate cancer gene 3 urine assay for prostate cancer in Japanese men undergoing prostate biopsy.	Int. J. Urol.	18(3)	200-205	2011
Yano K., <u>Miki T.</u> , et al.	Chetomin induces degradation of XIAP and enhances TRAIL sensitivity in urogenital cancer cells.	Int. J. Oncol.	38(2)	365-374	2011
Nishida K., <u>Miki T.</u> , et al.	Incremental value of T2-weighted and diffusion-weighted MRI for prediction of biochemical recurrence after radical prostatectomy in clinically localized prostate cancer.	Acta. Radiol.	52(1)	120-126	2011
Takaha N., <u>Miki T.</u> , et al.	Optimal duration of androgen deprivation in combination with radiation therapy for Japanese men with high-risk prostate cancer.	Urol. Int.	87(1)	28-34	2011
Akaza H., <u>Miki T.</u> , et al.	Combined immunotherapy with low-dose IL-2 Plus IFN- α for metastatic renal cell carcinoma: survival benefit for selected patients with lung metastasis and serum sodium level.	Jpn J Clin Oncol.	41(8)	1023-30	2011
Shibata T., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	NRF2 mutation confers malignant potential and resistance to chemoradiation therapy in advanced esophageal squamous cancer.	Neoplasia.	13(9)	864-73	2011
Aoyagi K., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Artificially induced epithelial-mesenchymal transition in surgical subjects: its implications in clinical and basic cancer research.	PLoS ONE	6(4)	e18196	2011
<u>Tachimori Y.</u> , et al.	Pattern of lymph node metastases of esophageal squamous cell carcinoma based on the anatomical lymphatic drainage system.	Dis Esophagus.	24(1)	33-8	2011
<u>日月裕司</u> , 他.	化学放射線療法後のサルベージ手術	日本臨床, 食道癌	69(増)6	368-373	2011
<u>日月裕司</u> , 他.	サルベージ手術	日本外科学会雑誌	112(2)	117-121	2011
Togami S., <u>Kasamatsu T.</u> et al.	A rare case of recurrent ovarian cancer presenting as a round ligament metastasis.	World J.Surg. Oncol.	9	144	2011

Uehara T., <u>Kasamatsu T.</u> et al.	Safety and efficacy of a splenectomy during debulking surgery for Mullerian carcinoma.	Euro. J. Gynaecol.Oncol.	32	269-73	2011
<u>Toita T.</u> , <u>Uno T.</u> , <u>Kasamatsu T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , et al.	A consensus-based guideline defining clinical target volume for primary disease in external beam radiotherapy for intact uterine cervical cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41	1119-26	2011
Sawada M., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Primary extraskeletal myxoid chondrosarcoma of the vulva.	J. Obstet. Gynaecol. Res.	37	1706-10	2011
Koga Y., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Novel virtual cytological analysis for the detection of endometrial cancer cells using autoscan fluoromicroscopy.	Cancer Sci.	102	1068-75	2011
Onoe S., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Feasibility of breast conserving surgery for Paget's disease.	The Breast	20	515-8	2011
Tamura N., <u>Kinoshita T.</u>	A case of metaplastic carcinoma of the breast.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(8)	1045	2011
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic significance of mitotic figures in metastatic mammary ductal carcinoma to the lymph nodes.	Hum. Pathol.	42	1823-32	2011
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Modified primary tumour/vessel tumour/nodal tumour classification for patients with invasive ductal carcinoma of the breast.	British Journal of Cancer	105	698-708	2011
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Important histologic outcome predictors for patients with invasive ductal carcinoma of the breast.	Am. J. Surg. Pathol.	35(10)	1484-97	2011
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Atypical tumor-stromal fibroblasts in invasive ductal carcinoma of the breast.	Am. J. Surg. Pathol.	35(3)	325-36	2011
<u>Kinoshita T.</u>	Preoperative therapy: recent findings.	Breast Cancer,	18	80-4	2011
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Atypical tumor-stromal fibroblasts in invasive ductal carcinomas of the breast treated with neoadjuvant therapy.	Hum. Pathol.	42	998-1006	2011
Tamura K., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	FcγR2A and 3A polymorphisms predict clinical outcome of trastuzumab in both neoadjuvant and metastatic settings in patients with HER2-positive breast cancer.	Annals. of Oncology,	22	1302-7	2011

Tsuda H., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	A histopathological study for evaluation of therapeutic effects of radiofrequency ablation in patients with breast cancer.	Breast Cancer	18 (1)	24-32	2011
Yoshida M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic factors in young Japanese women with breast cancer: prognostic value of age at diagnosis.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(2)	180-9	2011
Seki K., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Histopathological effect of radiofrequency ablation therapy for primary breast cancer, with special reference to changes in cancer cells and stromal structure and a comparison with enzyme histochemistry.	Breast Cancer	18	18-23	2011
<u>Kinoshita T.</u> , et al.	Radiofrequency ablation as local therapy for early breast carcinomas.	Breast Cancer	18	10-17	2011
<u>木下貴之</u>	乳癌に対する熱凝固療法の適応と限界 - RFA を中心に - .	Surgery Frontier	18(3)	19-26	2011
Tasaki E., <u>Goya T.</u> , et al.	Serum cytokine profiles in patients with prostate carcinoma.	Exp. Ther. Med.	2	887-891	2011
Matsuguma H., <u>Goya T.</u> , et al.	Is there a role for pulmonary metasectomy with a curative intent in patients with metastatic urinary transitional cell carcinoma	Ann. Thorac. Surg.	92	449-54	2011
Tanaka R., <u>Goya T.</u> , et al.	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging in differentiating the invasiveness of small lung adenocarcinoma.	Acta. Rdiologica.	52	750-55	2011
Tanaka R., <u>Goya T.</u> , et al.	The development of new instruments(NT forceps) for video-assisted thoracoscopic surgery.	Surge. Today	41	303-05	2011
Tanaka R., <u>Goya T.</u> , et al.	The development of new instruments(NT forceps) for viedo-assisted thoracoscopic surgery.	Surge. Today	41	303-05	2011
淡河恵津世, <u>中村和正</u> , <u>山内智香子</u> , 他.	【胸部の最新画像情報 2011】 乳房温存術後放射線治療中および直後における肺障害についての検討(原著論文/特集)	臨床放射線	56(1)	113-120	2011
<u>山内智香子</u> , 他.	乳癌治療 病態別治療の体系化 原発性乳癌の病態と治療指針 放射線治療.	月刊カレントセラピー 別冊2011	29(5) 5月号		2011

Tsujino K., <u>Uno T.</u> , et al.	A survey of patients with inflammatory skin recurrence corresponding to the area of previous irradiation after postoperative radiotherapy for breast cancer.	J. Radiat. Res.	52(6)	797-803	2011
Watanabe M., <u>Uno T.</u> , et al.	Intrafractional gastric motion and interfractional stomach deformity using CT images.	J. Radiat. Res.	52(5)	660-5	2011
<u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al. Disease Committee of Radiation Oncology, Japanese Gynecologic Oncology Group.	Radiotherapy quality assurance of the Japanese Gynecologic Oncology Group study (JGOG1066): a cooperative phase II study of concurrent chemoradiotherapy for uterine cervical cancer.	Int. J. Clin. Oncol.	16(4)	379-86	2011
Hatakenaka M., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Apparent diffusion coefficient calculated with relatively high b-values correlates with local failure of head and neck squamous cell carcinoma treated with radiotherapy.	AJNR Am. J. Neuroradiol.	32(10)	1904-10	2011
Hatakenaka M., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Pretreatment apparent diffusion coefficient of the primary lesion correlates with local failure in head-and-neck cancer treated with chemoradiotherapy or radiotherapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	81(2)	339-45	2011
Shinoto M., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Clinical results of definitive chemoradiotherapy for patients with synchronous head and neck squamous cell carcinoma and esophageal cancer.	Am. J. Clin. Oncol.	34(4)	362-366.	2011
<u>中村和正</u> , 他	外照射療法の現状と展望.	日本臨床	69 (suppl 5)	408-411	2011
<u>中村和正</u> .	前立腺がん. これだけは知っておきたい! 放射線療法 Q&A 基本知識と最前線	がん治療レクチャー	2(1)	154-158	2011
Hashimoto K., <u>Sumi M.</u> , et al.	Comparison of clinical outcomes of surgery followed by local brain radiotherapy and surgery followed by whole brain radiotherapy in patients with single brain metastasis: single-center retrospective analysis.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	81(4)	475-80	2011

Kato H., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Nodal relapse after Helicobacter pylori eradication in a patient with primary localized gastric mucosa associated lymphoid tissue lymphoma.	Am. J. Gastroenterology	106 (3)	549-51	2011
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Factors associated with nodal metastasis in nasopharyngeal cancer: an approach to reduce the radiation field in selected patients.	Br. J. Radiol.	84(999)	265-70	2011
Inokuchi H., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Clinical usefulness of [(18)F] Fluoro-2-deoxy-d-glucose uptake in 178 head-and-neck cancer patients with nodal metastasis treated with definitive chemoradiotherapy: Consideration of its prognostic value and ability to provide guidance for optimal selection of patients for planned neck dissection.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	79(3)	747-55	2011
Kato H., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Nodal relapse after Helicobacter pylori eradication in a patient with primary localized gastric mucosa associated lymphoid tissue lymphoma.	Am. J. Gastroenterology	106(3)	549-51	2011
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Factors associated with nodal metastasis in nasopharyngeal cancer: an approach to reduce the radiation field in selected patients.	Br. J. Radiol.	84(999)	265-70	2011
<u>古平毅.</u>	高精度放射線治療の適応と成果 —そして課題—II 高精度放射線治療の適応と課題: 疾患別の検討 2 頭頸部癌の最新放射線治療 強度変調放射線治療 (IMRT)	INNERVISION	26(3)	23-26	2011
<u>古平毅.</u>	Current topics: 頭頸部癌 頭頸部がんに対する通常放射線治療と強度変調放射線治療の比較 効果と有害事象	癌と化学療法	38(7)	1103-06	2011
<u>古平毅.</u> 他.	高精度治療および短期照射治療に伴う有害事象 頭頸部癌 IMRT 症例の唾液腺機能評価の検討.	臨床放射線	56(8)	935-942	2011

Kodama H., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Clinical outcome of esophageal varices after hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma with major portal vein tumor thrombus.	Hepatol. Res.	41(11)	1046-56	2011
山崎文之, <u>権丈雅浩</u> , 他	テモゾロミド点滴静注用剤と脳神経外科領域での制吐療法	脳神経外科速報	21(10)	1134-41.	2011
<u>Ogawa K.</u> , et al.	Brain metastases from breast cancer: Treatment and prognosis. In Hayat MA, editor. Tumors of the Central Nervous System.	1st ed. Heidelberg, Springer,	3	47-52	2011
<u>Ogawa K.</u> , <u>Onishi H.</u> , et al. JROSG Working Subgroup of Gastrointestinal Cancers.	Intraoperative radiotherapy for unresectable pancreatic cancer: a multi-institutional retrospective analysis of 144 patients.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	80(1)	111-8	2011
Iida G, <u>Ogawa K.</u> , et al.	Clinical significance of Thallium-201 SPECT after postoperative radiotherapy in patients with glioblastoma multiforme.	J. Neurooncol.	103(2)	297-305	2011
Hirakawa M., <u>Toita T.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	High-risk group for locoregional recurrence in patients with stage IB-IIB squamous cell carcinoma of the cervix treated with concurrent chemoradiotherapy.	Anticancer Res.	31	1347-1442	2011
Chiba I., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Clinical significance of GLUT-1 expression in patients with esophageal cancer treated with concurrent chemoradiotherapy.	Oncol. Lett.	2(1)	21-28	2011
Miyara T., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Bronchial diverticula detected by multidetector-row computed tomography: Incidence and clinical features.	J. Thorac Imaging.	263	204-8	2011
<u>Shikama N.</u> , et al.	Management of locoregional recurrence of breast cancer.	Breast Cancer.	18	252-258	2011
Nakamura N., <u>Shikama N.</u> , et al.	Quantification of cold spots caused by geometrical uncertainty in field-in-field techniques for whole breast radiotherapy.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(9)	1127-31	2011
<u>Shikama N.</u> , <u>Nakamura K.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Sasaki S.</u> , ; on behalf of the Japan Radiation Oncology Group (JAROG).	A long-term follow-up study of prospective 80%-dose CHOP followed by involved-field radiotherapy in elderly lymphoma patients.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(6)	764-769	2011
鹿間直人.	放射線治療.	Visual Dermatology	11(1)	74-77	2011

Nambu A., <u>Onishi H.</u> , et al.	Rib fracture after stereotactic radiotherapy on follow-up thin-section computed tomography in 177 primary lung cancer patients.	Radiat. Oncol.	6	137	2011
<u>Onishi H.</u> , <u>Kozuka T.</u> , et al.	Stereotactic body radiotherapy (SBRT) for operable stage I non-small-cell lung cancer: Can SBRT be comparable to surgery?	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	81(5)	1352-8	2011
Nambu A., <u>Onishi H.</u> , et al.	Value of dual time point F-18 FDG-PET/CT imaging for the evaluation of prognosis and risk factors for recurrence in patients with stage I non-small cell lung cancer treated with stereotactic body radiation therapy.	Eur. J. Radiol.	6	137	2011
大西洋, 他	体幹部定位放射線治療	Radioisotopes	61	31-42	2011
Morimoto M., <u>Koizumi M.</u> , et al	Significance of tumor volume related to peritumoral edema in intracranial meningioma treated with extreme hypofractionated stereotactic radiation therapy in three to five fractions.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(5)	609-16	2011
Kotsuma T., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Preliminary results of magnetic resonance imaging-aided high-dose-rate interstitial brachytherapy for recurrent uterine carcinoma after curative surgery.	J. Radiat. Res.	52(3)	329-34	2011
Isohashi F., <u>Koizumi M.</u> , et al.	A case of bullous pemphigoid exacerbated by irradiation after breast conservative radiotherapy.	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(6)	811-3	2011
Ogata T., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Weekly verification of dosimetric data for virtual wedge using a 2-D diodedetector array.	Medical Dosimetr	36(3)	246-9	2011
Yoshioka Y., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Monotherapeutic high-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: Five-year results of an extreme hypofractionation regimen with 54 Gy in nine fractions.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	80(2)	469-75	2011
<u>小泉雅彦</u>	【がんと骨の遭遇】 がん骨転移の放射線治療	Clinical Calcium.	21(3)	455-64	2011
<u>安藤裕</u>	画像ネットワークの基礎知識	臨床画像	27(5)	556-570	2011

<u>Nakagawa K.</u> , et al.	Radiation therapy did not alleviate complete paralysis due to metastasis of lung adenocarcinoma to thoracic vertebrae until four months later.	Acta Oncol.	50(4)	606-8	2011
Kida S., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	4D-CBCT reconstruction using MV portal imaging during volumetric modulated arc therapy.	Radiother. Oncol.	100(3)	380-5	2011
Yoda K., <u>Nakagawa K.</u>	Technical note: Extension of Van Herk's treatment margin model for anisotropic systematic positioning errors in cartesian coordinate system.	Med. Phys.	38(7)	3913-4	2011
Sakumi A., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	First in-situ dose calculation report using in-treatment kilovoltage cone-beam ct and in-treatment linac parameters during volumetric modulated arc therapy.	J. Radiat. Res.	52(4)	536-7	2011
Okuma K., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Abscopal effect of radiation on lung metastases of hepatocellular carcinoma: a case report.	J. Med. Case Reports.	5	111	2011
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Details of recurrence sites after elective nodal irradiation (ENI) using 3D-con-formal radiotherapy (3D-CRT) combined with chemotherapy for thoracic esophageal squamous cell carcinoma-A retro-spective analysis.	Radiother. Oncol.	98(2)	255-60	2011
Koga T., <u>Terahara A.</u> , et al.	Outcomes of radiosurgery for brainstem arteriovenous malformations.	Neurosurgery	69(1)	45-51 discussion 51-2	2011
<u>寺原敦朗.</u>	【基礎と臨床の対話】 寡分割照射の基礎と臨床 ガンマナイフによる定位手術的照射 (SRS).	癌の臨床	56	469-473	2011
中村達也, 古平毅, <u>寺原敦朗.</u> , 他.	【 JROSG(Japanese Radiation Oncology Study Group)の現状】 頭頸部腫瘍委員会.	癌の臨床	56	493-497	2011
<u>Teshima T.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , <u>Nakamura K.</u> , <u>Mitsumori M.</u> , <u>Ando Y.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , <u>Terahara A.</u> , et al.	Japanese structure of radiation oncology in 2007 based on institutional stratification of Patterns of Care Study.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	78(5)	1483-93	2010

Sato K., <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	γ -H2AX and phosphorylated ATM focus formation in cancer cells after laser plasma X irradiation.	Radiat. Res.	174	436-445	2010
Ozawa S., <u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al. The registration committee for esophageal cancer.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2002.	Esophagus	7 (1)	7-22	2010
Nishikino M., <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al.	Application of laser produced plasma K α X-ray probe in radiation biology.	Rev. Sci. Instrum.	81(4)	026107	2010
Mochimaru Y., <u>Numasaki H.</u> , <u>Teshima T.</u> , et al. JASTRO Committee.	Relations between radiotherapy resources and breast cancer patient survival rates.	Asian Pac. J. Cancer Prev.	11(2)	513-517	2010
佐藤克俊, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他.	レーザープラズマ X 線マイクロビーム照射装置の開発と放射線生物学研究応用.	電気学会論文誌 C	130(10)	1800-1805	2010
沼崎穂高, 手島昭樹, 宇野隆, 中村和正, 角美奈子, 権丈雅浩, 他. 日本 PCS 作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS)から見たわが国の放射線治療の 10 年間の変化・現状そして問題点、2.総論・技術開発、PCS と個人情報保護.	癌の臨床	56(2)	87-94	2010
沼崎穂高, 手島昭樹, 宇野隆, 中村和正, 角美奈子, 権丈雅浩, 他. 日本 PCS 作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS)から見たわが国の放射線治療の 10 年間の変化・現状そして問題点、2.総論・技術開発、データの正確性を高める工夫.	癌の臨床	56(2)	95-103	2010
光森通英, 鹿間直人, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 乳癌小作業部会.	特集 医療実態調査研究(PCS)から見たわが国の放射線治療の 10 年間の変化・現状そして問題点、3.疾患各論、乳癌、乳房温存療法.	癌の臨床	56(2)	105-114	2010
鹿間直人, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 乳癌小作業部会、	特集 医療実態調査研究(PCS)から見たわが国の放射線治療の 10 年間の変化・現状そして問題点、3.疾患各論、乳癌、乳房切除術後・放射線療法.	癌の臨床	56(2)	115-120	2010
権丈雅浩, 宇野隆, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 食道癌小作業部会	食道癌の集学的治療における放射線治療の位置づけ	癌の臨床	56(2)	121-126	2010

角美奈子, 宇野隆, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 肺癌小作 業部会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論、肺癌、非 小細胞肺癌—診療過程と放射 線治療方法の変遷—.	癌の臨床	56(2)	127-133	2010
宇野隆, 角美奈子, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 肺癌小作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論、肺癌、小 細胞肺癌.	癌の臨床	56(2)	135-138	2010
古平毅, 戸板孝文, 宇野隆, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 子宮頸癌小作業部 会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論 子宮頸癌 非手術症例：医療実態調査研 究(PCS)からみた子宮頸癌非手 術(根治的治療)症例における 放射線治療の現状と問題点	癌の臨床	56(2)	139-147	2010
篠田充功, 戸板孝文, 古平毅, 宇野隆, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 子宮頸癌 小作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論 子宮頸癌 手術症例：医療実態調査研究 (PCS)から見た子宮頸癌手術 (術後照射)症例における放射線 治療の現状.	癌の臨床	56(2)	149-154	2010
中村和正, 小川和彦, 大西洋, 小泉雅彦, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 前立腺癌 証作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論 前立腺癌 総論、前立腺癌に対する医療実 態調査研究 (PCS)：総論および 内分泌抵抗・再燃例の検討.	癌の臨床	56(2)	155-161	2010
小川和彦, 中村和正, 大西洋, 小泉雅彦, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 前立腺癌 証作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論 前立腺癌 根治照射症例、前立腺癌に対す る根治的外部照射治療 -医療 実態調査研究 (PCS)から見た わが国の 10 年間の変化.	癌の臨床	56(2)	162-167	2010

小泉雅彦, 中村和正, 小川和彦, 大西洋, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 前立腺癌 証作業部会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論 前立腺癌 根治照射症例(小線源治療)、医 療実態調査研究(PCS)から見た わが国の前立腺癌に対する小 線源治療の 10 年間の変化、	癌の臨床	56(2)	169-175	2010
荒屋正幸, 大西洋, 中村和正, 小泉雅彦, 小川和彦, 沼崎穂高, 手島昭樹, 他. 日本 PCS 前立腺癌証作業部 会	特集 医療実態調査研究(PCS) から見たわが国の放射線治療 の 10 年間の変化・現状そして 問題点、3.疾患各論 前立腺癌 アジュバント・救済照射症例、 医療実態調査研究 (PCS): から 見たわが国の前立腺癌術後放 射線療法の時代的变化.	癌の臨床	56(2)	177-185	2010
小澤壯治, 日月裕司, 宇野隆, 手島昭樹, 沼崎穂高, 他.	食道癌全国登録の現状と将来 展望.	外科治療	102(4)	353-357	2010
Ogata T., Teshima T., et al.	Early administration of IL-6RA does not prevent radiation-induced lung injury in mice.	Radiat. Oncol.	5	26	2010
Otani Y., Tsukamoto N., Teshima T., et al.	A comparison of the respiratory signals acquired by different respiratory monitoring systems used in respiratory gated radiotherapy.	Med. Phys.	37(12):	6178-618 6	2010
Hamada N., Teshima T., et al.	Recent advances in the biology of heavy-ion cancer therapy.	J. Radiat. Research	51(4)	365-83	2010
西村博明, 手島昭樹.	レーザー駆動単色 X 線の放射 線生物学への応用.	レーザー研究	38(12)	981-986	2010
Okajima E., Miki T., et al.	Cancer death from non-muscle invasive bladder cancer: report of the Japanese Urological Association of data from the 1999-2001 registry in Japan.	Int. J. Urol.	17(11)	905-12	2010
Honjo H., Miki T., et al.	Impact of convenience void in a bladder diary with urinary perception grade to assess overactive bladder symptoms: a community-based study.	Neurourol. Urodyn.	29(7)	1286- 1289	2010
Ukimura O., Miki T., et al.	Technique for a hybrid system of real-time transrectal ultrasound with preoperative magnetic resonance imaging in the guidance of targeted prostate biopsy.	Int. J. Urol.	17(10)	890-893	2010

Uemura M., <u>Miki T.</u> , et al.	5alphaDH-DOC (5alpha-dihydro-deoxycorticosterone) activates androgen receptor in castration-resistant prostate cancer.	Cancer Sci.	101(8)	1897-1904	2010
Okada K., <u>Miki T.</u> , et al.	Community-based prostate cancer screening in Japan: predicting factors for positive repeat biopsy.	Int. J. Urol.	17(6)	541-547	2010
Hiraoka K., <u>Miki T.</u> , et al.	Chloride ion modulates cell proliferation of human androgen-independent prostatic cancer cell.	Cell Physiol. Biochem.	25(4-5)	379-388	2010
沖原宏治, <u>三木恒治</u> , 他.	前立腺癌検診の有効性評価を目的とした症例対照研究.	腎泌尿予防医誌	18(1)	51-52	2010
Sano M., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Forkhead box A1 transcriptional pathway in KRT7-expressing esophageal squamous cell carcinomas with extensive lymph node metastasis.	Int. J. Oncol.	36(2)	321-30	2010
田中則光, <u>日月裕司</u> , 他.	食道癌 salvage 手術と気道壊死に関する検討.	日本消化器外科学会雑誌	43(9)	877-881	2010
<u>日月裕司</u> .	化学放射線療法後救済手術	手術	64(7)	969-975.	2010
<u>日月裕司</u> .	食道切除後の再建術 食道回腸吻合・食道結腸吻合	外科治療	102 (suppl.)	495-501	2010
Tanioka M., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Clinical characteristics and outcomes of women with stage IV endometrial cancer.	Med. Oncol.	27	1371-7	2010
Uehara T., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	A case of vaginal clear cell adenocarcinoma complicated with congenital anomalies of the genitourinary tract and metanephric remnant without prenatal diethylstilbestrol (DES) exposure.	Int. J. Obstet. Gynaecol. Res.	36	681-5	2010
Nakahara I., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Up-regulation of PSF1 promotes the growth of breast cancer cells.	Genes. Cells	15	1015-1024	2010
Tanioka M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Predictors of recurrence in breast cancer patients with a pathologic complete response after neoadjuvant chemotherapy.	British Journal of Cancer	103	297-302	2010
Okada N., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Metaplastic carcinoma of the breast.	Hum. Pathol.	41	960-970	2010
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	P53 expression in tumor-stromal fibroblasts forming and not forming fibrotic foci in invasive ductal carcinoma of the breast.	Modern Pathology,	23	662-672	2010

Hojo T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Evaluation of sentinel node biopsy by combined fluorescent and dye method and lymph flow for breast cancer.	The Breast	19	210-213	2010
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Grading system for lymph vessel tumor emboli: significant outcome predictor for invasive ductal carcinoma of the breast.	Hum. Pathol.	41(5)	706-715	2010
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Grading system for lymph vessel tumor emboli: significant outcome predictor for patients with invasive ductal carcinoma of the breast who received neoadjuvant therapy.	Modern Pathology	23	581-592	2010
Yonemori K., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Immunohistochemical expression of HER1, HER3, and HER4 in HER2-positive breast cancer patients treated with trastuzumab-containing neoadjuvant chemotherapy.	J. Surg.Oncol.	101	222-227	2010
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	P53 expression in tumor-stromal fibroblasts is closely associated with the nodal metastasis and outcome of patients with invasive ductal carcinoma who received neoadjuvant therapy.	Hum. Pathol.	41	262-270	2010
<u>木下貴之</u>	乳がんに対する RFA の現状と今後.	外科治療	102(4)	395-403	2010
廣川高久, <u>木下貴之</u> , 他	早期乳癌手術の低侵襲化にもなう Day Surgery 化への安全性試験.	乳癌の臨床	25(5)	569-574	2010
<u>木下貴之</u>	「傷をつけない治療」乳がんのラジオ波焼灼療法、実際の効果は？	がんサポート	90	30-33	2010
<u>木下貴之</u>	乳がん外科治療におけるセンチネルリンパ節生検の意義 : これまでの報告と今後の課題 .	血液・腫瘍科	61(1)	115-122	2010
Nakazato Y., <u>Goya T.</u> , et al.	Nuclear grading of primary pulmonary adenocarcinomas.	Cancer	116	2011-19	2010
Sakurai H., <u>Goya T.</u> , et al.	Survival differences by gender for resected non-small cell lung cancer. A retrospective analysis of 12,509 cases in a Japanese lung cancer registry study.	J. Thorac. Oncol.	5	1594-1601	2010

Itami J., <u>Sumi M.</u> , et al.	High-dose rate brachytherapy alone in postoperative soft tissue sarcomas with close or positive margins.	Brachytherapy	9	349-353	2010
Yoshimura R., <u>Sumi M.</u> , et al.	Outcomes in patients with early-stage hypopharyngeal cancer treated with radiotherapy.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	77 (4)	1017-23	2010
Niibe Y., <u>Kenjo M.</u> , <u>Toita T.</u> , et al.	High-dose-rate intracavitary brachytherapy combined with external beam radiotherapy for stage IIIb adenocarcinoma of the uterine cervix in Japan: A multi-institutional study of Japanese society of therapeutic radiology and oncology 2006-2007 (Study of JASTRO 2006-2007)	Jpn. J. Clin. Oncol.	41(8)	795-799	2010
<u>Kodaira T.</u> , et al.	Retrospective analysis of definitive radiotherapy for patients with superficial esophageal carcinoma: Consideration of the optimal treatment method with a focus on late morbidity.	Radiotherapy and Oncology	95	234-9	2010
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	The impact of radiation dose and fractionation on outcomes for limited-stage small-cell lung cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	76(4)	1121-6	2010
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Long-term follow-up and a detailed prognostic analysis of patients with oropharyngeal cancer treated with radiotherapy.	J. Cancer Res. Clin. Oncol.	136(4)	617-23	2010
Shitara K., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Heavy smoking history interacts with chemoradiotherapy for esophageal cancer prognosis: A retrospective study.	Cancer Sci.	101(4)	1001-6	2010
<u>Toita T.</u> , <u>Uno T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , et al.	A consensus-based guideline defining the clinical target volume for pelvic lymph nodes in external beam radiotherapy for uterine cervical cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.	40(5)	456-63	2010
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Helical tomotherapy for solitary lung tumor: feasibility study and dosimetric evaluation of treatment plans.	Technology in Cancer Research and Treatment,	9(4)	407-415	2010

Tomita N, <u>Kodaira T.</u> , et al.	Dosimetric comparison of three-dimensional conformal radiotherapy in salvage radiotherapy for PSA relapse after radical prostatectomy.	J. Radiat. Res.	51 (5)	581-7	2010
<u>古平毅</u>	質疑応答 最新の癌の放射線治療	週間日本医事新報	4487	79-80	2010
<u>古平毅</u> 他	II 上咽頭癌に対する診断と治療の進歩 再発上咽頭癌に対しての放射線治療 トモセラピーによる強度変調放射線治療の有用性の検討	耳鼻と臨床	56	S46-53	2010
<u>古平毅</u>	最新の放射線治療の動向 ~ IMRT ガイドライン改定をふまえてトモセラピーによる IMRT の現況と問題点	Rad. Fan.	8(12)	61-63	2010
後藤容子, <u>古平毅</u> 他	Tomotherapy を用いた上咽頭癌局所再発に対しての再照射例の検討	臨床放射線	55(8)	1018-24	2010
<u>Kenjo M.</u> , et al.	Sequential Chemo- radiotherapy with 24 Gy of cranial irradiation for intracranial germinoma diagnosed with MRI.	Int. J. Radiat. Oncol. Bio.l Phys.	78(3)	S169	2010
Katamura Y., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Zoledronic acid delays disease progression of bone metastases from hepatocellular carcinoma.	Hepatology Research	40(12)	1195-1203	2010
<u>Shikama N.</u> , et al.	Management of locoregional recurrence of breast cancer.	Breast Cancer	18(4)	252-8	2010
Koiwai K., <u>Shikama N.</u> , et al.	Validation of the Total Dysphagia Risk Score (TDRS) as a predictive measure for acute swallowing dysfunction induced by chemoradiotherapy for head and neck cancers.	Radiother Oncol.	97(1)	132-5	2010
<u>Onishi H.</u> , et al.	A simple respiratory indicator for irradiation during voluntary breath holding: A one-touch device without electronic materials.	Radiology	255	917-923	2010
Takahashi Y., <u>Koizumi M.</u> , et al.	What is the optimum minimum segment size used instep and shoot IMRT for prostate cancer?	J. Radiat. Res.	51	543-52	2010
Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Age is not a limiting factor for brachytherapy for carcinoma of the node negative oral tongue in patients aged eighty or older.	Radiat. Oncol.	5	116	2010

Isohashi F., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Rectal dose and source strength of the high-dose-rate iridium-192 both affect late rectal bleeding after intracavitary radiation therapy for uterine cervix carcinoma.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	77(3)	758-764.	2010
二見光, 塚本信宏, 安藤裕, 他.	構造化技術を用いた読影レポートの類似記載を特定する手法の開発.	日放腫会誌	66 (9)	1229-36	2010
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Patient setup error and day-to-day esophageal motion error analyzed by cone-beam computed tomography in radiation therapy.	Acta. Oncol.	49(4)	485-90	2010
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Four-dimensional measurement of the displacement of internal fiducial markers during 320-multislice computed tomography scanning of thoracic esophageal cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	79(2)	588-95	2010
Okuma K., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Advanced age is a significant determinant of poor prognosis in patients treated with surgery plus postoperative radiotherapy for endometrial cancer.	J. Obstet. Gynaecol. Res.	36(4)	757-63	2010
Yamashita H., Terahara A., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Prescreening based on the presence of CT-scan abnormalities and biomarkers (KL-6 and SP-D) may reduce severe radiation pneumonitis after stereotactic radiotherapy.	Radiat. Oncol.	5	32	2010
Hachizuka M., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Development of a personal digital assistant (PDA) system to collect symptom information from home hospice patients.	J. Palliat. Med.	13(6)	647-51	2010
Nakamura N., Shikama N., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Variability in bladder volumes of full bladders in definitive radiotherapy for cases of localized prostate cancer.	Strahlenther. Oncol.	186(11)	637-42	2010
Koga T., <u>Terahara A.</u> , et al.	Long-term outcomes of stereotactic radiosurgery for arteriovenous malformations in the thalamus.	Neurosurgery	67	398-403	2010
Wakui R., <u>Terahara A.</u> , <u>Nakagawa K.</u>	Esophageal cancer: definitive chemoradiotherapy for elderly patients.	Dis. Esophagus,	23	572-9	2010
宮野一樹, 寺原敦朗, 他.	当院における声門癌の臨床的検討	頭頸部癌	36(3)	322-326	2010
寺原敦朗.	放射線治療の臨床応用 ガンマナイフ.	映像情報 Medical	42(12)	1077-80	2010

Shida F., <u>Sasaki S.</u> , <u>Shikama N.</u> , et al.	Late relapse of extranodal natural killer/T cell lymphoma, nasal type, after more than ten years.	Leukemia & Lymphoma	51	171-3	2010
Tateishi K., <u>Sasaki S.</u> , et al.	Historical analysis of cisplatin and docetaxel chemotherapy with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced stage III non-small cell lung cancer in an institute: weekly versus conventional schedule of docetaxel.	Curr. Res. in Cancer	4	1-11	2010
Koiwai K., <u>Shikama N.</u> , <u>Sasaki S.</u> , et al.	Validation of the total dysphagia risk score (TDRS) as a predictive measure for acute swallowing dysfunction induced by chemoradiotherapy for head and neck cancers.	Radiother. Oncol.	97	132-5	2010